

厚生労働大臣 外添 要一 殿

開設者名 公立大学法人横浜市立大  
理事長 本多 常

## 公立大学法人横浜市立大学付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

## 記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	47人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	325人	7.4人	332.4人	看護業務補助	43人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	0人	14.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	67人
薬剤師	28人	10.8人	38.8人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	検査その他	0人
助産師	29人	0人	28.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	556人	50.0人	606.0人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0.8人	0.8人	栄養士	0人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	1人	事務職員	68人
管理栄養士	9人	0人	9.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	8人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

## 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	532人	14人	546人
1日当たり平均外来患者数	1,915人	49人	1,964人
1日当たり平均調剤数		1,936剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	12人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顎面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化リンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	(有)・無	2人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	(有)・無	3人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	(有)・無	0人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	179人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	64人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	65人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	25人
・全身性エリテマトーデス	308人	・多系統萎縮症	32人
・スモン	6人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	38人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	116人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	36人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	268人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	68人	・特発性大腿骨頭壞死症	34人
・結節性動脈周囲炎	23人	・混合性結合組織病	53人
・潰瘍性大腸炎	35人	・原発性免疫不全症候群	13人
・大動脈炎症候群	29人	・特発性間質性肺炎	7人
・ビュルガー病	18人	・網膜色素変性症	44人
・天疱瘡	29人	・プリオント病	3人
・脊髄小脳変性症	79人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	12人	・神経線維腫症	11人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	175人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	6人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	42人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	2人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	5回／月	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 54 例	剖検率 15.3 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
1	本態性高血圧症におけるユピキチリンガーゼNEDD4Lの分子病態生理学的研究	石上友章	循環器・腎臓内科学	1300	補 科学研究費
2	AT1受容体への新規結合因子の血圧循環制御作用と水電解質調節作用についての検討	田村功一	循環器・腎臓内科学	1600	補 科学研究費
3	カベオリンによる糖尿病新規治療の開発	押川 仁	循環器・腎臓内科学	1800	補 科学研究費
4	動脈硬化症憎悪因子としてのAPJ受容体の解析	橋本達夫	循環器・腎臓内科学	1600	補 科学研究費
5	腎障害憎悪因子受容体への機能制御性新規結合蛋白の腎での機能と発現調節に関する検討	池谷裕子	循環器・腎臓内科学	1320	補 科学研究費
6	胎生肝細胞からのHUNKキナーゼの遺伝子単離と腎臓における発現・機能解析	酒井政司	循環器・腎臓内科学	500	補 科学研究費
7	生活習慣病の戦略的予防法の確立	梅村 敏	循環器・腎臓内科学	2000	補 研究戦略プロジェクト費
8	生活習慣病の戦略的予防法の確立	内野和顕	循環器・腎臓内科学	200	補 研究戦略プロジェクト費
9	生活習慣病の戦略的予防法の確立	戸谷義幸	血液浄化センター	200	補 研究戦略プロジェクト費
10	腎尿細管特異的高血圧因子 Nedd4Lの遺伝子進化の解明と生体適合性高分子による in vivo transferの技術を用いた本態性高血圧症の成因の解明	石上友章	循環器・腎臓内科学	800	補 研究戦略プロジェクト費
11	発生工学的手法の応用によるメボリック症候群憎悪因子受容体の新規特異的機能調節因子による生体での機能制御の試み	田村功一	循環器・腎臓内科学	900	補 研究戦略プロジェクト費
12	自殺対策のための戦略研究課題自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネージメントの効果:他施設共同による無作為比較研究	平安良雄	神経科	760	補 厚生労働省 委
13	精神科領域における臨床研究推進のための基盤作りに関する研究:統合失調症のグローバル治験にわが国が参加するための条件検討	平安良雄	神経科	500	補 厚生労働省 委
14	自殺企図者の精神医学的研究:自殺企図の精神病理および生物学的背景、危険因子の研究	河西千秋	神経科	80	補 文部科学省 委
15	自殺未遂者および自殺者遺族へのケアに関する研究	河西千秋	神経科	30	補 厚生労働省 委
16	レビー小体型認知症の臨床病理学的研究	都甲 崇	神経科	100	補 文部科学省 委
17	前頭側頭型認知症の臨床病理学的	勝瀬大海	神経科	130	補 文部科学省 委
18	科学的根拠に基づいた精神科薬物治療管理プログラムの開発	加藤大慈	神経科	20	補 横浜総合医学振興財団 委

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
19	インスリン抵抗性に対する膵β細胞量調節の分子メカニズムの解明	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	8,300	補科学研究費基盤研究(B)委
20	生活習慣病の戦略的予防法の確立	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	7,000	補横浜市立大学平成19年度戦略的研究事業委
21	糖尿病における血管合併症の発症予防と進展に関する研究	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	550	補JDCStudy 厚生労働省科学研究費委
22	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	1,500	補21世紀COEプログラム委
23	膵β細胞量調節の分子機構の解明と膵β細胞量低下に対する治療法の開発	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	1,000	補ノボノルディスクファーマインスリン研究助成委
24	非アルコール性脂肪肝炎(NASH)発症・進展の分子メカニズムの解明	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	1,000	補ノバルティス財団委
25	PI3キナーゼ調節サブユニットを標的としたインスリン抵抗性の改善法の確立	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	1,000	補持田記念医学薬学振興財団委
26	グルコキナーゼ依存性・非依存性の膵β細胞増殖機構の解明	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	1,000	補糖尿病財団委
27	膵β細胞量の調節機構の解明	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	5,000	補上原記念生命科学財団委
28	糖尿病予防のための戦略研究 課題3. 2型糖尿病の血管合併症抑制のための介入試験	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科	2,500	補国際協力医学研究振興財団委
29	PI3Kp85α抑制下でのインスリン作用におけるアディポネクチン、レプチンの関与	青木一孝	内分泌・糖尿病内科	2,200	補科学研究費基盤研究(C)委
30	胃癌術後のQOLの改善と医療費抑制についての研究	利野 靖	一般外科	800	文科省委
31	紡錘体形成チェックポイント遺伝子と癌悪性度及び微小管阻害剤の抗腫瘍効果との関係	和田修幸	一般外科	700	文科省委
32	運動失調に関する調査及び病態機序に関する研究班(班長 西澤正豊)	黒岩義之	神経内科	1000	補厚生労働科学研究費補助金委
33	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究班(班長 中島孝)	黒岩義之	神経内科	1000	補厚生労働科学研究費補助金委
34	特定疾患の地域支援体制の構築に関する研究(班長 糸山泰人)	黒岩義之	神経内科	700	補厚生労働科学研究費補助金委
35	プリオントウ病及び遅発性ウイルス感染に関する調査研究班(班長 水澤英洋)	黒岩義之	神経内科	1000	補厚生労働科学研究費補助金委
36	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成	黒岩義之	神経内科	1500	補21COE委
37	資格制事象関連電位とポジトロン断層撮影を用いた定量的高次脳機能検査システムの開発	黒岩義之	神経内科	650	補科学研究費(基盤研究C)委

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
38	頭頸部癌に対する有用性の高い分子標的療法の開発	佃 守 (代表)	耳鼻咽喉科	1500	補 文部科学省科学研究所 委
39	頭頸部進行癌に対する漢方治療の有用性評価	佃 守 (分担)	耳鼻咽喉科	900	補 厚生労働省科学研究所 委
40	先進医療を目指した頭頸部進行癌に対する臟器温存のための放射線化学同時併用療法の多施設研究	佃 守 (代表)	耳鼻咽喉科	1100	補 横浜市立大学研究戦略プロジェクト研究 委
41	膀胱上皮内癌部位診断へのナノ光触媒ハイブリッド微粒子の応用研究	窪田吉信(代表)	泌尿器科	1300	補 文部科学省 科学研究費 萌芽研究
42	前立腺癌の発生進展に関わる遺伝子の解析。	三好康秀(代表)	泌尿器科	3500	補 文部科学省 科学研究費 若手研究(B)
43	アンジオテンシン2による酸化ストレスが前立腺癌の発生に及ぼす影響の解析。	上村博司(代表)	泌尿器科	2400	補 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(C)
44	培養精原幹細胞を用いた ex vivo 精子形成再生法の開発。	小川毅彦(代表)	泌尿器科	1400	補 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(C)
45	癌化シグナルを標的とした新規腎細胞癌治療法開発のための研究。	中井川昇(代表)	泌尿器科	3500	補 独立行政法人 日本学術振興会科学 研究費 科学研究費 基盤研究(C)
46	前立腺癌の再燃を方向付ける極性制御分子の解析・同定と診断・治療への応用。	窪田吉信(代表)	泌尿器科	3000	補 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(B)
47	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成。	窪田吉信(分担)	泌尿器科	6000	補 文部科学省 21世紀COEプログラム
48	環境にやさしい水質浄化技術の研究開発。	窪田吉信(分担)	泌尿器科	8000	補 文部科学省 科学技術振興調整費
49	抗菌抗ウィルスならびに撥水性を発現する光触媒創成と光触媒性能評価方法の研究開発。	窪田吉信(分担)	泌尿器科	30000	補 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)循環社会構築型光触媒産業創成プロジェクト 光触媒関連基礎技術の開発ならびに新環境科学領域の創成事業
50	降圧剤が前立腺癌発生を抑制する分子機構の解明と臨床応用。	上村博司(代表)	泌尿器科	1400	補 横浜市立大学 研究戦略プロジェクト 事業
51	前立腺癌組織内ホルモン濃度レベルの予後因子としての有用性。	三好康秀(代表)	泌尿器科	300	補 横浜市立大学 研究戦略プロジェクト 事業
52	がん診療における分子イメージングの臨床応用に関する研究	井上登美夫	放射線科	11,500	補 厚生労働省科学 研究費補助金
53	臨床医療への無線情報通信技術の導入検証	井上登美夫	放射線科	9,500	委 (独)情報通信研究 機構
54	放射線医学分野におけるICRとの関連に関する学術動向の調査・研究	井上登美夫	放射線科	3,500	補 日本学術振興会
55	新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究	井上登美夫	放射線科	3,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金

NO.	研究題目	氏名	所属部門	立額(万円)	補助元又は受託元
56	頭頸部癌の病期診断における造影PET/CTの有用性の検討	鈴木晶子	放射線部	800	補 科学研究費補助金
57	放射線治療の照射位置精度向上に関する研究	幡多政治	放射線科	400	補 (財)横浜総合医学振興財団奨励研究助成
58	正常眼圧緑内障の疾患感受性遺伝子の同定および迅速遺伝子診断キットの開発に関する研究	水木信久	眼科	29000	補 厚生労働省科研費
59	ベーチェット病に関する調査研究	水木信久	眼科	800	補 厚生労働省科研費
60	ベーチェット病の遺伝子解析の改	西出忠之	眼科	1800	補 文部科学研究費
61	極性形成機構の視覚器と神経再生への展開応用とゲノム解析	水木信久	眼科	1500	補 文部科学研究費
62	頸部頸動脈狭窄症におけるPLAーク内出血の分子機構に関する研究(基盤研究C)(H19~20年度)	山本勇夫	脳神経外科	2,300	補 日本学術振興会
63	VHL遺伝子・ペプチドによる組織幹細胞・ES細胞の神経分化誘導と再生医療への応用(基盤研究B)(H16~19年度)	菅野 洋	脳神経外科	1,400	補 日本学術振興会
64	機能性ペプチドを用いた神経再生医療の開発(萌芽研究)(H19~20年度)	菅野 洋	脳神経外科	2,300	補 日本学術振興会
65	VHLペプチドを用いた脊髄変性疾患に対する脊髄神経再生の研究(基盤研究C)(H19~20年度)	村田 英俊	脳神経外科	2,400	補 日本学術振興会
66	BC-BOXペプチドによる体性幹細胞からの神経分化誘導及び神経機能評価	菅野 洋(研究分担者)(代表は、東亜合成株式会社)	脳神経外科	3,400	補 科学技術振興機構(受託研究:東亜合成株式会社との共同研究)
67	細胞極性システム研究に基づく未来医療創成	菅野 洋	脳神経外科	700	補 COE補助金(ワロー)
68	扁平上皮癌に対する樹状細胞を用いた温熱免疫細胞療法。	藤内 祝	口腔外科	4,420	文部科学省
69	CD34陽性細胞を併用する骨再生促進法の開発。	松井義郎	口腔外科	3,770	日本学術振興会
70	頭頸部扁平上皮癌におけるCD109の発現と診断的意義に関する研究。	光藤健司	口腔外科	1,430	日本学術振興会
71	唾液腺癌における“がん幹細胞”的分離と特性解析。	廣田 誠	口腔外科	2,470	日本学術振興会
72	口腔心身症に対する簡便な自律神経機能検査による症状・病態の定量的評価。	渡貫 圭	口腔外科	400	文部科学省
73	頭頸部癌動注化学放射線療法における正常細胞のための治療スケジュールの開発。	福井敬文	口腔外科	1,900	文部科学省
74	生理活性化物質を含んだアパタイト薄膜コーティングチタンファイバーの顎骨再生・歯科インプラント医療への応用。	廣田 誠	口腔外科	1,500	横浜市立大学

NO.	研究題目	氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
75	歯科インプラントを前提としたセラミックス性骨補填剤を用いた顎骨再生手術の臨床研究。	廣田 誠	口腔外科	500	横浜市立大学
76	口腔癌に対する放射線化学療法における自律神経障害の定量的評価に関する研究。	渡貫 圭	口腔外科	300	横浜市立大学
77	細胞接着因子固定化インプラント材料の開発。	小澤知倫	口腔外科	300	横浜市立大学
78	頭頸部癌動注化学放射線療法における正常細胞防御のための治療スケジュールの開発。	福井敬文	口腔外科	300	横浜市立大学
79	自己免疫性肺炎における内視鏡生検診断法の確立	窪田賢輔	消化器内科	500	財団法人 内視鏡医学研究振興財団
80	Wnt / $\beta$ -catenin経路を標的とした大腸がん化学予防のためのトランスレーショナルリサーチ	中島 淳(代)	消化器内科	2,000	財団法人 高松宮妃癌研究基金
81	消化器疾患の診断治療抗体のスクリーニング	中島 淳(代)	消化器内科	10,000	医薬基盤研究所 厚生省科研費
82	第3次対がん10ヶ年総合戦略研究事業「疾患モデル動物を用いた環境癌がんの初期発生過程及び感受性要因の解明とその臨機応用に関する研究」	中島 淳(代)	消化器内科	3,800	厚生省科研費
83	難治性疾患克服研究事業「特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究」	中島 淳(代)	消化器内科	2,500	厚生省科研費
84	政策創薬総合研究事業「感染サルの腸管機能／再生系の解析と治療法開発」	中島 淳(代)	消化器内科	6,000	厚生省科研費
85	基盤研究B「PPAR $\gamma$ リガンドを用いた大腸化学癌予防の研究」	中島 淳(代)	消化器内科	10,010	文部科学省科研費
86	若手B「肺癌におけるPPAR $\gamma$ の作用解析」	高橋宏和	消化器内科	1,700	文部科学省科研費
87	横浜市研究戦略プロジェクト「血清コリン測定および <sup>11</sup> C-コリン PET-CTを用いた非アルコール性脂肪肝・肝炎の新しい超早期・低侵襲診断法の開発」	中島 淳(代)	消化器内科	1,500	横浜市立大学
88	自己免疫性肺炎における内視鏡生検組織診断の有用性の研究	窪田賢輔	消化器内科	400	横浜市立大学
89	横浜市研究戦略プロジェクト「PPAR $\gamma$ リガンドを用いた大腸化学癌予防の研究」	高橋宏和	消化器内科	1,600	横浜市立大学
90	高齢者における手術後の心身の変化と機能低下防止に関する研究(厚生労働省科学研究費)	嶋田 紘	消化器病態外科学	800(千円)	補 委 立 國 立 長 壽 醫 療 セン タ 文 部 科 學 研 究 委 員 會
91	NF- $\kappa$ b Decoyを用いた過大肝切除後肝不全の制御(文部科学省科学研究費)	渡会伸治	消化器病態外科学	1,100(千円)	補 文部科学省 委
92	難治性疾患克服研究事業 ベーチェット病に関する調査研究	石ヶ坪良明(分)	病態免疫制御内科学	2500	厚生労働科学研究費 補助金
93	難治性疾患克服研究事業 骨髄幹細胞移植による難治性血管炎への血管再生医療に関する多施設共同研究	石ヶ坪良明(分)	病態免疫制御内科学	3200	厚生労働科学研究費 補助金

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(十円)	補助元又は委託元
94	エイズ対策研究事業 薬剤耐性HIVの動向把握のための調査体制確立およびその対策に関する研究	石ヶ坪良明(分)	病態免疫制御内科学	2500	厚生労働科学研究費補助金
95	文部科学省21世紀プログラム(研究拠点形成費補助金)	石ヶ坪良明(分)	病態免疫制御内科学	1500	文部科学省21世紀プログラム
96	難治性免疫・アレルギー疾患と感染症に関する先端的検査・治療法の開発:クリニックからベンチ・ベンチからクリニックへ	石ヶ坪良明(代)	病態免疫制御内科学	7000	横浜市立大学教育戦略プロジェクト
97	炎症性疾患におけるheme oxygenase-1の役割	岳野光洋(代)	病態免疫制御内科学	1000	横浜総合医学振興財団
98	Lack of Surface Immunoglobulin in Diffuse Large B-cell Lymphoma.	富田直人(代)	リウマチ・血液・感染症内科	400	横浜総合医学振興財団
99	低酸素性肺血管収縮におけるカルシウム依存性、非依存性収縮の機序解明	水野祐介	麻酔科	950	文部省科学研究費補助金
100	急性肺傷害治療における血管内皮細胞増殖因子分泌型レセプター遺伝子導入の効果	馬場靖子	麻酔科	380	文部省科学研究費補助金
101	難治性慢性疼痛に対する脊髄刺激電極の作用機序に対する検討	田澤利治	麻酔科	1700	文部省科学研究費補助金
102	神経因性疼痛における神経ガイダンス因子の多角的アプローチによる分子標的的解明	紙谷義孝	麻酔科	6700	文部省科学研究費補助金
103	気道上皮細胞増殖因子遺伝子導入による急性・慢性肺傷害治療にむけた基盤研究	倉橋清泰	麻酔科	1500	文部省科学研究費補助金
104	神経保護因子としてのエリスロポイチンの新しい作用メカニズムの解明	安藤富男	麻酔科	1900	文部省科学研究費補助金
105	肝阻血再灌流後の肺損傷の予防と治療に関する基盤研究	太田周平	麻酔科	2200	文部省科学研究費補助金
106	生体日内リズムに対する各種麻酔薬の影響 松果体マイクロダイアリシス法による検討	菊地龍明	手術部	2700	文部省科学研究費補助金
107	麻酔薬の中脳ドパミンニューロンカリウムチャネルに及ぼす影響	小川賢一	麻酔科	800	文部省科学研究費補助金
108	急性肺損傷の予防と治療にむけたトランスレーショナルリサーチ	倉橋清泰	麻酔科	1000	横浜総合医学振興財団助成金
109	難治性免疫・アレルギー疾患と感染症に対する先端的検査・治療法の開発。	平原史樹	産婦人科	1,500	横浜市立大学2007年度研究戦略プロジェクト事業共同研究
110	風疹流行にともなう母児感染の予防対策構築に関する研究	平原史樹	産婦人科	3,000	2007年度厚生労働省科学研究
111	本邦における先天異常モニタリングの構築と外的・環境因子サーベイランスに関する研究。	平原史樹	産婦人科	3,450	2007年度厚生労働省科学研究子ども家庭総合研究事業
112	日産婦医会外表奇形等先天異常モニタリング・サーベイランスならびに先天異常児のトータルケア確立に関する研究。	平原史樹	産婦人科	3,000	2007年度おぎやー基金特別研究

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(十円)	補助元又は実証元
113	ラット嗅板を用いたGnRH/パルス分泌におけるcAMPの役割に関する研究	榎原秀也	産婦人科	500	2007年度文部科学省 科学技術研究助成金、 萌芽研究
114	婦人科悪性腫瘍が產生するカリクレイン属セリンプロテアーゼに関する研究	宮城悦子	産婦人科	650	文部省科学研究費補助金・基盤研究C
115	ヒト細胞が產生する蛋白質の機能解析と応用	宮城悦子	産婦人科	1,000	横浜市立大学2007年度研究戦略プロジェクト
116	難治性アレルギー性皮膚疾患の新規バイオマーカーと新規治療法の開発研究	池澤善郎	皮膚科学	2000	補 文科省 委
117	CpGモチーフを用いたアトピー性皮膚炎の治療—皮疹の抑制とサイトカインの変化	相原道子	皮膚科	200	補 文科省 委
118	食物アレルギーにおけるアレルゲンの同定、アレルゲンの体内動態の解析についての検討	猪又直子	皮膚科	1000	補 文科省 委
119	シックハウス症候群の診断・治療法及び具体的方策に関する研究	池澤善郎(研究分担者)	皮膚科学	1800	補 厚労省 委
120	アトピー性皮膚炎の発症および悪化因子の同定と発症予防・症状悪化防止のための生活環境整備に関する研究	池澤善郎(研究分担者)	皮膚科学	2000	補 厚労省 委
121	重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	池澤善郎(研究分担者)	皮膚科学	2000	補 厚労省 委
122	アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する研究	池澤善郎(研究分担者)	皮膚科学	1500	補 厚労省 委
123	重篤な皮膚有害事象の診断・治療と遺伝子マーカーに関する研究	池澤善郎(研究分担者)	皮膚科学	1100	補 厚労省 委
124	難治性免疫・アレルギー疾患と感染症に対する先端的検査・治療法の開発:クリニックからベンチ・ベンチからクリニックへ	相原道子(研究分担者)	皮膚科	1000	補 横浜市大戦略プロジェクト 委
125	アトピー性皮膚炎にともなう痒みに対する新しい治療戦略	相原道子(研究分担者)	皮膚科	150	補 横浜市大戦略プロジェクト 委
126	スモンに関する調査研究	水落和也	リハビリテーション科	800	厚生労働省
127	メタボリックシンドローム患者に対する乗馬による運動療法が糖代謝と筋力に及ぼす影響	菊地尚久	リハビリテーション科	1200	文部科学省
128	TLR・Nod蛋白の調節異常から見た乳幼児Cytokine Storm態解剖	横田俊平	小児科	9900	文部科学省
129	動脈管分化促進による未熟児動脈管閉存症の新治療を目指して	岩崎志穂	小児科	1700	文部科学省
130	小児期の成長板における軟骨細胞の分化に及ぼす炎症性サイトカインの影響	森雅亮	小児科	1100	文部科学省
131	周期性発熱を伴う高IgD症候群における代謝異常と発熱の解明	成戸卓也	小児科	1100	文部科学省

No.	研究課題名	氏名	所属部門	金額(十円)	補助元又は委託元
132	免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業:関節リウマチおよび線維筋痛症の寛解導入を目的とした新規医薬品の導入・開発及び評価に関する包括的研究	横田俊平	小児科	1400	厚生労働省
133	インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	横田俊平	小児科	1000	厚生労働省
134	乳幼児突然死症候群(SIDS)における科学的根拠に基づいた病態解明および臨床対応と予防法の開発に関する研究	横田俊平	小児科	800	厚生労働省
135	小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性確保のあり方に関する研究	横田俊平	小児科	500	厚生労働省
136	小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性確保のあり方に関する研究	横田俊平	小児科	800	厚生労働省
137	急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	横田俊平	小児科	500	厚生労働省
138	長時間着座のための運動型腰椎用持续他動運動装置の開発	青田洋一	整形外科	2,600	補 科学研究費

計 138

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Hypertension	Novel regulatory effect of angiotensin II type 1 receptorinteracting molecule on vascular smooth muscle cells	田村 功一	循環器・腎臓内科学
2	Am J Pathol	Requirement of apelin-apelin receptor system for oxidative stress-linked atherosclerosis	橋本 達夫	循環器・腎臓内科学
3	Lab. Invest	Role for host and tumor angiotensin II type 1 receptor in tumor growth and tumor-associated angiogenesis.	橋本 達夫	循環器・腎臓内科学
4	Circ J	Reverse perfusion-metabolism mismatch predicts good prognosis in patients undergoing cardiac resynchronization therapy	石川 利之	循環器内科(CCU)
5	Geriatr Gerontol Int	NEDD\$L protein truncating variant is associated with essential hypertension in a sample of the Japanese population	石上 友章	循環器・腎臓内科学
6	Int Heart J	Reducing Ventricular Pacing in Sinus Node Dysfunction DDIR versus DDDR	石川 利之	循環器内科(CCU)
7	Am J Physiol Cell Physiol	Dopamine induces apoptosis in young, but not in neonatal, neurons via Ca2+-dependent signal	戸谷 義幸	腎臓・高血圧内科 (血液浄化センター)
8	Ther Apher Dial	Sevelamer hydrochloride improves hyperphosphatemia in hemodialysis patients with low bone turnover rate and low intact parathyroid hormone levels	戸谷 義幸	腎臓・高血圧内科 (血液浄化センター)
9	Am J Cardiol	Electrocardiographic Differentiation Between Acute Pulmonary Embolism and Acute Coronary Syndromes on the Basis of Negative T Waves	石川 利之	循環器内科(CCU)
10	Circ	Serum amyloid A is better predictor of clinical outcomes than C-reactive protein in non-ST-segment elevation acute coronary syndrome	石川 利之	循環器内科(CCU)
11	Clim Exp Hypertens	A possible relationship of nocturnal blood pressure variability with coronary artery disease in diabetes in diabetic nephropathy	田村 功一	循環器・腎臓内科学
12	Nephrol Dial Transplant	Expression of Creactive protein in myointimal hyperplasia in a porcine arteriovenous graft model	久慈 忠司	循環器・腎臓内科学
13	Nephrol Dial Transplant	Cellular and morphological changes during neointimal hyperplasia development in a porcine arteriovenous graft model	久慈 忠司	循環器・腎臓内科学
14	Am J Physiol Renal Physiol	Expression of MAK-V/Hunk in proliferative suppression	田村 功一	循環器・腎臓内科学
15	日腎会誌	Theophylline投与の関与が強く疑われた高Ca血症の一例	池谷 裕子	循環器・腎臓内科学
16	治療	冠動脈ステント留置後の抗血小板療法	内野 和顕	循環器・腎臓内科学
17	心臓	冠動脈バイパス術後に左主幹部病変の退縮を認めた一例	高村 武	循環器・腎臓内科学
18	腎炎症例研究	MRSA感染とともに一過性の皮疹・血便を認め本フローゼ症候群を合併した一例	戸谷 義幸	腎臓・高血圧内科 (血液浄化センター)
19	Ther Res	永久ペースメーカー適応症例における睡眠呼吸障害とペーシング療法の影響	松下 浩平	循環器内科(CCU)
20	治療	高lipoprotein(a)虚血性心疾患の危険因子か? EBMで検証	内野 和顕	循環器・腎臓内科学
21	神奈川医学会雑誌	横浜市立大学附属2病院における自殺予防対策	平安 良雄	精神医学教室
22	臨床精神医学	【新しい時代の統合失調症 研究から治療へ】統合失調症の生物学的理	平安 良雄	精神医学教室
23	精神神経学雑誌	自殺問題と予防対策 厚生労働省戦略研究 自殺再企図防止に対するケース・マネジメントの効果 多施設共同による無作為化比較試験(ACTION-J)	河西千秋, 平安良雄	精神医学教室

NO.	会議開催地	発表者	発表日	発表内容
24	Depression Frontier	救命救急センターを拠点とした自殺予防への取り組み	河西千秋	精神医学教室
25	日本臨床	悪性症候群	河西千秋	精神医学教室
26	看護管理	入院患者の自殺を防ぐために:必要な知識と対応	河西千秋	精神医学教室
27	日本自殺予防学会News Letter	海外の自殺予防関連学会について:学会参加のすすめ	河西千秋	精神医学教室
28	精神医学	ネットトレードによる病的賭博の1例	都甲崇	精神医学教室
29	精神科治療学22	向精神薬(抗うつ薬を除く)による性ホルモン異常と性機能障害、その対策	勝瀬大海	精神医学教室
30	精神神経学雑誌	精神科薬物治療管理アプローチを用いた統合失调症100例の診療録調査	加藤大慈	精神医学教室
31	Neuropathology	Brain imaging in schizophrenia	平安 良雄	精神医学教室
32	Palliat Support Care	Unexpectedly high prevalence of akathisia in cancer patients	河西千秋	精神医学教室
33	Psychiatry Clin Neurosci	Proposals for suicide prevention in general hospitals	河西千秋	精神医学教室
34	Eur J Clin Pharmacol	Effects of CYP2D6 polymorphisms on neuroleptic malignant syndrome	加藤大慈	精神医学教室
35	J Clin Invest	Glucokinase and Irs2 are required for compensatory b-cell hyperplasia in response to high-fat diet-induced insulin resistance.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
36	Diabetes Res Clin Pract	Administration of miglitol until 30 minutes after the start of a meal is effective in type 2 diabetic patients.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
37	Endocr J	Divided-dose administration of miglitol just before and 15 minutes after the start of a meal smoothes the postprandial plasma glucose excursions and serum insulin responses in healthy men.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
38	Curr Med Res Opin	The rationale for paired pre- and postprandial self-monitoring of blood glucose: the role of glycemic variability in micro- and macrovascular risk.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
39	Intern Med	Serum butyrylcholinesterase is strongly associated with adiposity, serum lipid profile, and insulin resistance.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
40	Cell Struct Funct	Role of IRS and PHIP on Insulin-Induced Tyrosine Phosphorylation and Distribution of IRS Proteins.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
41	Cell Metab	Adiponectin stimulates AMP-activated protein kinase in the hypothalamus and increases food intake.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
42	J Am Soc Nephrol	Role of altered renal lipid metabolism in the development of renal injury induced by a high-fat diet: Lessons from insulin-sensitive PPAR $\gamma$ -deficient mice.	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
43	共済医報	「Fat Scan」を用いた内臓脂肪定量とウエスト、BMIとの関係	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
44	臨床病理	PPAR $\alpha$ とメタボリックシンドローム	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科
45	Hepatogastroenterology	Bone disorder and VitaminD after gastric cancer surgery	Rion Y	一般外科
46	ANTICANCER RESEARCH	Over Expression of the Mitotic Spindle Assembly checkpoint Genes hBUB1, hBUB1R and hMAD2 in Thyroid carcinomas with Aggressive Nature	和田修幸	一般外科
47	日本消化器外科学会雑誌	胃癌術後のビタミンA, Eの変化とその臨床学的意義について	利野 靖	一般外科

48	Neuroscience Letters 429: 22-27	The effect pf attended color on the P1/N1 component of visual event-related potentials.	Omoto S	神経内科
49	Jounal of the Neurological Sciences 26	Acute mountain Sickness with reversible Vasospasm.	Johmura Y	神経内科
50	Stroke 38: e26-27	Central paroxysmal positional vertigo: isolated dizziness caused by small cerebellar hemorrhage.	Johkura K	神経内科
51	J Clin Neurosci 14: 185,	Spike-wave stupor and triphasic waves (reply).	Johkura K	神経内科
52	Oncology Reports	Antitumor effect of gefitinib on head and neck squamous cell carcinoma enhanced by trastuzumab.	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
53	Oncology Reports	Involvement of EGFR in the response of squamous cell carcinoma of the andneck cell lines to gefitinib.	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
54	癌と化学療法	Head and Neck 頭頸部癌 IV.頭頸部癌に対する分子標的療法	佃 守	耳鼻咽喉科
55	Oncology Reports	Anti-tumor effects of bevacizumab in combination with paclitaxel on head and neck squamous cell carcinoma.	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
56	Oncology Reports	Antitumor effects of ZD6474 on head and neck squamous cell carcinoma	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
57	Clin. Oncol.	Relationship between p21 and p53 expression, human papilloma virus infection and malignant transformation in sinonasal-inverted papilloma	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
58	J Surg Oncol.	Increased expression of matrix metalloproteinase-2 and 9 and human papilloma virus infection are associated with malignant transformation of sinonasal inverted papilloma.	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
59	Oncology Reports	Antitumor effects of IDN5109 on head and neck squamous cell carcinoma	Tsukuda M	耳鼻咽喉科
60	Genes Chromosomes Cancer	Characterization of a 3;6 translocation associated with renal cell carcinoma.	Yao M	泌尿器科
61	Prostate	Regulation of prostate cancer cell growth and PSA expression by angiotensin II receptor blocker with peroxisome proliferator-activated receptor gamma ligand like action.	Uemura H	泌尿器科
62	Biology of Reproduction	Production of Functional Spermatids from Mouse Germline Stem Cells in Ectopically Reconstituted Seminiferous Tubules.	Kita K	泌尿器科
63	International Journal of Urology	Experience of retroperitoneoscopic adrenalectomy in 195 patients with primary aldosteronism.	Kubota Y	泌尿器科
64	Clinical Nuclear Medicine	High FDG uptake on oncocytoma located in the retroperitoneum mimicking malignancy.	Kubota Y	泌尿器科
65	Journal National Cancer Institute	Promotion of bladder cancer development and progression by androgen receptor signals.	Kubota Y	泌尿器科
66	Journal of Pathology	Identification and characterization of Birt-Hogg-Dubé associated renal carcinoma.	Murakami T	泌尿器科
67	Cancer Letters	Mutations of c-kit gene in bilateral testicular germ cell tumours in Japan	Kubota Y	泌尿器科
68	Acta Urologica Japonica	Muscle and small intestinal metastasis of renal cell carcinoma markedly responsive to interferon- $\alpha$ therapy: a case report.	Sano F	泌尿器科
69	International Journal of Urology	Self-sterilizing catheters with titanium dioxide photocatalyst thin films for clean intermittent catheterization: Basis and study of clinical use.	Kubota Y	泌尿器科
70	International Journal of Urology	Collecting duct carcinoma producing granulocyte-colony-stimulating factor (G-CSF).	Kubota Y	泌尿器科
71	International Journal of Urology	Serious duodenitis concomitant with graft dysfunction following renal transplantation.	Kubota Y	泌尿器科
72	Oncology Reviews	Molecular targeting therapy with angiotensin II receptor blocker for prostatic cancer.	Uemura H	泌尿器科

NO.	会議名	発表者	発表題目
73	International Journal of Urology	Kubota Y	Distinguishing splenosis from local recurrence of renal cell carcinoma using a technetium sulfur colloid scan.
74	Clinical Cancer Research	Yao M	Expression of adipose differentiation-related protein: A predictor of cancer-specific survival in clear cell renal carcinoma.
75	Oncology Review	Uemura H	Molecular targeting therapy with angiotensin II receptor blocker for prostatic cancer.
76	臨床泌尿器科	上村博司	前立腺癌に対する密封小線源治療と強度変調前立腺外照射の治療後QOLの比較検討.
77	臨床泌尿器科	窪田吉信	泌尿器癌に対するgemcitabine, nedaplatin併用療法(GN療法).
78	泌尿器科紀要	中井川昇	褐色細胞腫38例の臨床的検討-術中の血圧変動と尿中VMAの関連性について-
79	腎癌研究会会報	窪田吉信	腎癌の発生、進展のメカニズム解明のための二つのアプローチ 原因遺伝子探索と網羅的遺伝子探索.
80	臨床泌尿器科	佐野太	診断・治療に難渋したループス膀胱炎の1例.
81	泌尿器科紀要	窪田吉信	精子を凍結保存した患者のその後の経過.
82	日本泌尿器科学会誌	窪田吉信	精巣腫瘍患者の管理におけるtotal human chorionic gonadotropin (hCG)の有用性-free $\beta$ hCGにかかる精巣腫瘍の標準マーカーとしての可能性-
83	泌尿器外科	中井川昇	セカンドライン化学療法:抗癌剤感受性試験に基づく試み.
84	癌と化学療法	窪田吉信	進行尿路上皮癌に対する Methotrexate/Epirubicine/Nedaplatin併用化学療法の検討.
85	Japanese Journal of Endourology and ESWL	楳山和秀	小径腎癌に対するマイクロ波組織凝固装置使用、無阻血、後腹膜鏡下腎部分切除術の検討
86	泌尿器外科	楳山和秀	QOLを考慮した腎細胞癌に対する腹腔鏡手術.
87	泌尿器科紀要	村上貴之	原発巣再発は認めず子宮転移のみを来たした表在性膀胱癌の1例.
88	日本泌尿器科学会誌	村上貴之	馬蹄腎に合併した尿管癌に対する腹腔鏡下左半腎尿管全摘術の経験.
89	日本泌尿器科学会誌	窪田吉信	陰茎癌59症例の臨床的検討.
90	泌尿器科紀要	窪田吉信	男子不妊を主訴とした染色体異常患者の臨床的検討.
91	日本臨床	窪田吉信	アンジオテンシンIIIレセプターブロッカー.
92	メジカルビュー社, 102-108, 2007.	上村博司	ホルモン抵抗性前立腺癌の発生機序.泌尿器疾患治療の新しいストラテジー
93	日本臨床	上村博司	前立腺癌におけるAR cofactorの意義.
94	蛋白質 核酸 酶素	小川毅彦	「生殖幹細胞(精子幹細胞と多能性幹細胞)」幹細胞技術の現状と展望
95	Modern Physician	小川毅彦	精細胞培養の最前線
96	泌尿器外科	中井川昇	セカンドライン化学療法-抗癌剤感受性試験に基づく試み.
97	検査と技術	矢尾正祐	私の一推し免疫染色HMB45.
98	病理と臨床	矢尾正祐	各臓器、疾患で用いられる抗体とその応用.
99	臨床と研究	楳山和秀	泌尿器悪性腫瘍、最新の診断と治療.副腎悪性腫瘍
100	最新医学別冊 新しい診断と治療のABC(49)内分泌	窪田吉信	診断と治療の概観(フローチャートも含めて).
101	Oncology	高橋 延和	The roles of PET and PET/CT in the diagnosis and management of prostate cancer.
102	Acad Radiol	高橋 延和	Functional Imaging of Estrogen Receptors with Radiolabeled-GAP-EDL in Rabbit Endometriosis Model.
103	Eur J Nucl Med Mol Imaging	高橋 延和	Targeted functional imaging of estrogen receptors with $^{99m}\text{Tc}$ -GAP-EDL.
104	Ann Nucl Med	宮下 公一	SUV correction for injection errors in FDG-PET examination
105	Jpn J Clin Oncol	鈴木 晶子	Inter-observer Variations in FDG-PET Interpretation for Cancer Screening.
106	Ann Nucl Med	南本 亮吾	FDG-PET of patients with suspected renal failure: standardized uptake values in normal tissues.
107	Ann Nucl Med	田山 芳史	Clinical evaluation of the effect of attenuation correction technique on $^{18}\text{F}$ -fluoride PET images.
108	Int J Radiat Oncol Biol Phys.	幡多 政治	Hypofractionated high-dose proton beam therapy for stage I non-small-cell lung cancer: preliminary results of a phase I/II clinical study.

No.	社説名	題名	著者氏名	所属部門
109	Strahlenther Oncol	Proton irradiation in a single fraction for hepatocellular carcinoma patients with uncontrollable ascites: technical considerations and results.	幡多 政治	放射線医学
110	Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for aged patients with hepatocellular carcinoma.	幡多 政治	放射線医学
111	Ann Nucl Med	Performance profile of FDG-PET and PET/CT for cancer screening on the basis of a Japanese Nationwide Survey.	南本 亮吾	放射線医学
112	Ann Nucl Med	FDG-PET of patients with suspected renal failure: standardized uptake values in normal	南本 亮吾	放射線医学
113	Clin Nucl Med	High FDG uptake on oncocyotoma located in the retroperitoneum mimicking malignancy.	南本 亮吾	放射線医学
114	Invest Ophthalmol Vis Sci	Functional SPNs in the promoter of the IFNGR1 gene are associated with ocular complications of atopic dermatitis.	Matusda A	Kyoto Prefectural University of Medicine
115	Jpn J Ophthalmol	Exclusion of the transforming growth factor-beta 1 as a candidate gene for high myopia in the Japanese.	Hayashi T	Department of Ophthalmology and Visual Science
116	Invest Ophthalmol Vis Sci	Characterization of Immune Response in Mouse Corneal Endothelial Cell Transplantation.	Hayashi T	Department of Ophthalmology and Visual Science
117	Ocular Immunol Inflamm	Penetration of gatifloxacin eye drop into the aqueoushumor in humans.	Teshigawara T	Department of Ophthalmology and Visual Science
118	Hypertension	High-resolution mapping for essential hypertension using microsatellite markers.	Yatsu K	Department of Medical Science and Cardiorenal Medicine
119	Hum Genet	Collagen type _ alpha _ are associated with high myopia in Japanese	Inamori Y	Department of Ophthalmology and Visual Science
120	Tissue Antigens	Lack of association of Toll-like receptor 9 gene polymorphism with Behcet's disease in Japanese patients.	Ito A	Department of Ophthalmology and Visual Science
121	Jpn J Ophthalmol	Association of MICA and HLA-B Alleles with Behcet's Disease in Turkey.	Mizuki N	Department of Ophthalmology and Visual Science
122	Neurosci Lett	The effect of attended color on the P1/N1 component of visual event-related potentials	Omoto S	Department of Ophthalmology and Visual Science
123	Clinical Ophthalmol	MDR 1 polymorphisms effect cyclosporine AUC O-4in Behcet's disease patients.	Katsuyama Y	Shinsyu University Hosupital
124	Clinical Ophthalmol	A Single Nucleotide Polymorphism analysis in the LAMA1 gene in the Japanese patients with high myopia.	Sasaki S	Department of Ophthalmology and Visual Science
125	Clinical ophthalmology	Lack of association with high myopia and the MYP2 locus in the Japanese	Yamane T	Department of Ophthalmology and Visual Science
126	Mol Vis	Polymorphism of IFN-gamma gene and Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Horie Y	Hokkaido University Graduate School of Medicine
127	Int J Med	Src regulates phorbol 12-myristate 13-acetate-activated PKCinduced migration via Cas/Crk/Rac1 signaling pathway in glioblastoma cells.	Nomura N	Department of Ophthalmology and Visual Science
128	Mol Vis	Phorbol 12-myristate-activated protein kinase C increased migratory activity of subconjunctival fibroblast via stressactivated protein kinase.	Nomura N	Department of Ophthalmology and Visual Science
129	Invest Ophthalmol Vis Sci	Characterization of Immune Response in Mouse Corneal Endothelial Cell Transplantation.	Hayashi T	Department of Ophthalmology and Visual Science
130	臨床眼科	ラタノプロスト点眼による傍中心窓毛細血管速度の変化	遠藤要子	眼科学
131	臨床眼科	CO2レーザーを使用したMuller筋タッキング法による眼瞼下垂手術	宮田信之	眼科学
132	臨床眼科	CO2レーザーと皮膚レーザー併用による眼瞼下垂手術	宮田信之	眼科学
133	横浜医学	強度近視におけるMYP2領域のマイクロサテライト相関解析	山根敬浩	眼科学
134	臨床眼科	糖尿病黄斑浮腫に対するトリアムシンロンアセトニド後部テノン囊下注入の効果と合併症	孫鳳銘	眼科学
135	臨床眼科	ミエロペルオキシダーゼ抗体好中球細胞質抗体関連血管炎に合併したサイトメガロウイルス網膜炎と考えられた1例	富山隆一	眼科学
136	日本眼科学会雑誌	flomoxef sodium術前投与による前房水内濃度	宮本眞理子	眼科学
137	臨床眼科	トリアムシンロンアセトニドによる虹彩炎と虹彩前粘液腫の1例	戸田桃子	眼科学
138	臨床眼科	トリアムシンロンアセトニドによる虹彩炎と虹彩前粘液腫の1例	蓮見由紀子	眼科学
139	日本眼科学会雑誌	中枢神経病変により急激に進行する視野障害をきたしたサルコイドーシスの一例	蓮見由紀子	眼科学

No.	椎込白	題名	著者名	所属部門
140	日本眼科紀要	サルコイドーシス眼病変における重症度、難治性の検討	飛鳥田有里	眼科学
141	臨床眼科	眼内悪性リンパ腫の2例	小林百合	眼科学
142	臨床眼科	眼内レンズの一次挿入を行った穿孔性眼外傷の3例	小林百合	眼科学
143	日本眼科学会雑誌	甲状腺機能亢進症の再燃とともに発症したLeber遺伝性視神経症の一例	小林百合	眼科学
144	臨床眼科	若年で発症し5年の間隔をあけ僚眼に発症したと考えられた単純ヘルペスウイルスによる急性網膜壞死	柞山健一	眼科学
145	臨床眼科	若年発症の水痘・帯状ヘルペスウイルスによる急性網膜壞死	翁長正樹	眼科学
146	日本眼科学会雑誌	統一規定による重複出版の見解—パンクーバースタイル—	水木信久	眼科学
147	日本の眼科	サルコイドーシスの診断と治療	石原麻美	眼科学
148	眼科プラクティス	サルコイドーシス	石原麻美	眼科学
149	人と国土	NPO 法人『眼炎症スタディーグループ』～設立背景から現在、そしてこれから目指す道～	西田朋美	眼科学
150	ペーチェット病	リウマチ性疾患・膠原病における疾患感受性遺伝子、ペーチェット病	日黒明	眼科学
151	日本の眼科	院内感染:ウイルス性結膜炎の感染予防	竹内聰	眼科学
152	日本の眼科	HLAとぶどう膜炎	渋谷悦子	眼科学
153	眼科	ぶどう膜炎(内眼炎)の診断基準(考え方)	飛鳥田有里	眼科学
154	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ペーチェット病に関する研究平成18年度研究報告集	PCR-Luminex 法を用いた日本人ペーチェット病患者における症状別HLA 遺伝子解析に関する研究	水木信久	眼科学
155	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ペーチェット病に関する研究平成18年度研究報告集	水木信久:ペーチェット病におけるHO-1発現低下とTLR 発現異常	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
156	厚生労働科学研究(特定疾患対策研究事業)ペーチェット病に関する研究平成18年度研究報告集	生物学的製剤使用時における結核の免疫学的診断法	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
157	眼科プラクティス	トピックス:炎症性眼疾患とHLA分子の相関	林孝彦	眼科学
158	Clinical neuroscience, 12:1325-1327, 2007.	頭蓋・頸椎移行部の臨床解剖「脳神経外科からみた必要知識」.	山本勇夫	脳神経外科
159	小児内科, 39:433-435, 2007.	小児中枢神経疾患の画像診断	山本勇夫, 笹野まり	脳神経外科
160	ブレインナーシング, 23:68-71, 2007.	新人がするべき急変予防のための予測と観察「脊髄腫瘍」.	山本勇夫	脳神経外科
161	ドクターサロン, 51:5-8, 2007.	脳血管障害の症状.	山本勇夫	脳神経外科
162	脳神経外科「専門医に聞く最新の臨床(片山容一, 川又達朗 編)中外医学社, p415-419, 2007.	脊髄髓内腫瘍と鑑別を要する疾患にはどのようなものがあるのか.	山本勇夫	脳神経外科
163	Annual Review:神経(柳沢信夫, 篠原幸人, 岩田 誠, 清水輝夫, 寺本 明 編)中外医学社, p153-158, 2007.	脳室内腫瘍の手術.	山本勇夫	脳神経外科
164	脳腫瘍の外科.(黒岩 編)MCメディカル出版, p109-113, 2007.	脳室内腫瘍手術合併症とその対策.	山本勇夫	脳神経外科
165	Int J Oncol, 12:125-130, 2007.	Collagen gel matrix assay as an in vivo chemosensitivity test for malignant astrocytic tumors.	Atsushi Ono, Hiroshi Kanno, Akimune Hayashi, Satoshi Nishimura, Yoshikazu Kyuma, Hidemitsu Sato, Isao Yamamoto, etc.	脳神経外科
166	Neurol Med Chir (Tokyo) 47(8):375-378, 2007.	Acute lymphocytic leukemia recurring in the spinal epidural space -case report-.	Higashida T, Kawasaki T, Sakata K, Tanabe Y, Kanno H, Yamamoto I	脳神経外科
167	J Neurosurg Spine, 7(3):293-304, 2007.	Myoarchitectonic spinolaminoplasty: efficacy in reconstituting the cervical musculature and preserving biomechanical function.	Kim P, Murata H, Kurokawa R, Takaishi Y, Asakuno K, Kawamoto T;	脳神経外科
168	Acta Neurochir (Wien). 149(10):1007-1013, 2007.	Gamma knife radiosurgery for intracranial haemangioblastomas.	Matsunaga S, Shuto T, Inomori S, Fujino H, Yamamoto I	脳神経外科
169	Life Sciences, 81 (15):1223-1227, 2007.	Reactive oxygen species trigger ischemic and pharmacological postconditioning: in vivo and in vitro characterization.	Tsutsumi YM, Yokoyama T, Horikawa Y, Roth DM, Patel HH	脳神経外科
170	老年精神医学雑誌, 18(1): 55-59, 2007.	認知症疾患の主な神経症候:とくに歩行障害を中心として、正常圧頭頭症.	伊藤 進, 山本勇夫	脳神経外科
171	定位的放射線治療 11:35-42, 2007.	後頭蓋窩血管芽腫に対するガンマナイフの治療成績およびその適応に関する考察.	周藤 高, 松永成生, 猪森茂雄, 藤野英世, 菅野 洋, 山本勇夫	脳神経外科
172	Neuro-Oncology, 16(2):p69-73, 2007.	脳原発悪性リンパ腫に対するMTX大量動注療法の治療成績と今後の課題.	林 明宗, 佐藤秀光, 菅野 洋, 山本勇夫	脳神経外科
173	No Shinkei Geka, 35(5):495-501, 2007.	頭蓋底軟骨腫の2例-画像上での鑑別診断を中心に-.	東田哲博, 坂田勝巳, 菅野 洋, 田邊 豊, 川崎 隆, 山本勇夫	脳神経外科
174	日本脊髄障害医学会雑誌20(1):100-101, 2007.	筋層構築の頸椎棘突起椎弓形成術:筋骨格構造の機能保存と頸部痛の軽減.	村田英俊, 金 彪	脳神経外科

No.	査定名	題名	発表者氏名	所属部門
175	顎微鏡下手術のための脳神経外科解剖XIX, pp140-146. 東京, サイメント・パブリケーションズ, 2007. 井上 亨(編)	頸靜脈孔の手術解剖.	坂田勝巳, 山本勇夫	脳神経外科
176	脳腫瘍の外科~合併症のない脳腫瘍の外科を目指して~. pp321-325. 大阪, メディカ出版, 2007. 黒岩敏彦(編)	脳腫瘍手術における新世代3DCTAを用いた術前シミュレーション.	坂田勝巳, 村田英俊, 田邊 豊, 菅野 洋, 山本勇夫, 泉 敏治	脳神経外科
177	J Surg Res. 2008 Jan 31	Gene Expression During Liver Regeneration After Partial Hepatectomy in Mice Lacking Type 1 Tumor Necrosis Factor Receptor.	市川 靖史	臨床腫瘍科
178	Anticancer Res. 2008 May-Jun;28(3A):15	Targeting of CDC20 via small interfering RNA causes enhancement of the cytotoxicity of	市川 靖史	臨床腫瘍科
179	Anticancer Res. 2008 Mar-Apr;28(2B):1309-15.	Impact of palliative gastrectomy in patients with incurable advanced gastric cancer.	市川 靖史	臨床腫瘍科
180	Clin Cancer Res. 2008 Apr 15;14(8):2351-6.	Amphiregulin is a promising prognostic marker for liver metastases of colorectal cancer.	市川 靖史	臨床腫瘍科
181	Biotechniques. 2007 Oct;43(4):479-84	Use of a competitive probe in assay design for genotyping of the UGT1A1 *28 microsatellite polymorphism by the smart amplification process.	市川 靖史	臨床腫瘍科
182	J Gastrointest Surg. 2008 May;12(5):802-10. Epub 2007 Oct 20	Surgical outcomes in esophageal cancer patients with tumor recurrence after curative	市川 靖史	臨床腫瘍科
183	Clin Cancer Res. 2007 Sep 1;13(17):4974-83	Rapid detection of epidermal growth factor receptor mutations in lung cancer by the SMart-Amplification Process.	市川 靖史	臨床腫瘍科
184	Scand J Clin Lab Invest. 2007;67(4):367-79. Review.	Correlating purity by microdissection with gene expression in gastric cancer tissue.	市川 靖史	臨床腫瘍科
185	J Gastrointest Surg. 2007 Aug;11(8):1039-44.	Impact of splenectomy in patients with gastric adenocarcinoma of the cardia.	市川 靖史	臨床腫瘍科
186	Oncol Rep. 2007 May;17(5):1201-5.	Human equilibrative nucleoside transporter 1 is associated with the chemosensitivity of gemcitabine in human pancreatic adenocarcinoma and biliary tract carcinoma cells.	市川 靖史	臨床腫瘍科
187	Hepatogastroenterology. 2006 Nov-Dec;53(72):854-7	Colonic J-pouch decreases bowel frequency by improving the evacuation ratio.	市川 靖史	臨床腫瘍科
188	MEDICO(0288-8114)39巻7号 Page249-253(2008.07)	【後期高齢者のがんの治療】肝胆脾がん	市川 靖史	臨床腫瘍科
189	外科治療(0433-2644)99巻1号 Page89-91(2008.07)	日常診療の指針 大腸癌多発肝転移に対する治療戦略	市川 靖史	臨床腫瘍科
190	横浜医学(0372-7726)59巻1号 Page33-39(2008.01)	大腸癌の術中腹腔洗浄細胞診の有用性	市川 靖史	臨床腫瘍科
191	カレントラピー(0287-8445)26巻5号 Page458-465(2008.05)	大学病院における癌総合診療のあり方(座談会)	市川 靖史	臨床腫瘍科
192	カレントラピー(0287-8445)26巻5号 Page398-402(2008.05)	【癌克服の総合戦略 連携科学に基づく多角的アプローチ】低侵襲かつ高精度を目指す局所療法 腹腔鏡下手術の現状と課題	市川 靖史	臨床腫瘍科
193	消化器科(0289-8756)46巻3号 Page260-265(2008.03)	【進行・再発大腸癌の最適な化学療法】化学療法既治療の進行・再発大腸癌に対するFOLFOX療法の治療成績	市川 靖史	臨床腫瘍科
194	外科(0016-593X)69巻12号 Page1489-1494(2007.11)	【外科疾患データーブック】消化管 イレウス(解説/特集)	市川 靖史	臨床腫瘍科
195	日本外科感染症学会雑誌(1349-5755)4巻3号 Page329-333(2007.08)	S状結腸癌に起因した肝臓癌の1例(原著論文/症例報告/抄録あり)	市川 靖史	臨床腫瘍科
196	日本外科感染症学会雑誌(1349-5755)4巻3号 Page303-307(2007.08)	【エビデンスに基づいたSSI予防】大腸癌手術におけるSurgical site infection(SSI)予防のための創縫用ドレーブの有用性	市川 靖史	臨床腫瘍科
197	臨床外科学(0386-9857)62巻10号 Page1307-1312(2007.10)	外科手術における新しいテクニック new art in surgery 胸腔鏡下食道切除術	市川 靖史	臨床腫瘍科
198	癌の臨床(0021-4949)53巻2号 Page131-136(2007.08)	【直腸癌に対する腹腔鏡手術の問題点】直腸癌に対する腹腔鏡手術における縫合不全の危険因子 縫合器、吻合器とその操作を中心に	市川 靖史	臨床腫瘍科
199	臨床外科学(0386-9857)62巻9号 Page1185-1195(2007.09)	【多発肝転移をめぐって】大腸癌多発肝転移に対する肝動注療法の現状と治療成績(Indication and outcome of intraarterial chemotherapy for multiple liver metastases from colorectal cancer)	市川 靖史	臨床腫瘍科
200	日本臨床(0047-1852)65巻増刊6乳癌 Page385-388(2007.06)	【乳癌 基礎・臨床研究のアップデート】臨床研究診断 画像診断-CT,MRI,PET-PETによる術前化学療法の効果判定予測	市川 靖史	臨床腫瘍科
201	癌と化学療法(0385-0684)34巻3号 Page449-451(2007.03)	高用量Toremifeneが奏効した化学療法無効、Anastrozole抵抗性の多発肝転移を伴う進行乳癌	市川 靖史	臨床腫瘍科
202	日本口腔外科学会誌	頸部に生じた動静脈奇形の1例—3D-CT angiography の有用性	岩井俊憲 他	口腔外科
203	日撮食嚥下リハ会誌	咽頭への送り込み障害に対して歯口蓋挙上機能を有する補綴装置が有効であった進行性核上性麻痺の一例	廣田 誠 他	口腔外科
204	日本口腔外科学会誌	歯肉腫に対する炭酸ガスレーザー照射後に生じた顔面・頸部・縫隔気腫の1例	松井義郎 他	口腔外科
205	日本口腔外科学会誌	高IgE症候群患者の抜歯に対する周術期管理の1例	筑丸 寛 他	口腔外科
206	Cranio Cleft Palate J	Factors Influencing Secondary Alveolar Bone Grafting in Cleft Lip and Palate Patients: Prospective Analysis Using CT Image Analyzer.	Ozawa T, et al.	口腔外科
207	Int J Oral Maxillofac Surgery	Factors influencing postoperative speech function of tongue cancer patients following reconstruction with fasciocutaneous/myocutaneous flaps—a multicenter study	Matsui Y, et al.	口腔外科
208	Proceedings of the International Symposium on Biomechanics, Healthcare and Information Science	Surgical treatment of tongue cancer and postoperative speech function after reconstruction with major flaps.	Matsui Y, et al.	口腔外科
209	Cranio Cleft Palate J	Long-term study of dental implants placed into alveolar cleft sites	松井義郎 他	口腔外科
210	日本口腔腫瘍学会誌	舌口底癌切除後再建患者の術後機能に関する主観評価－アンケートによる多施設検討	松井義郎 他	口腔外科
211	日本歯科麻酔学会誌	抗リン脂質抗体症候群を合併した顎変形症患者の全身麻酔経験	古瀬智理 他	口腔外科
212	J Oral Tissue Engin	Apatite Deposition on Several Dental Biodegradable Materials in Simulated Body Fluid	Ozawa T, et al.	口腔外科
213	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Salivary duct carcinoma in the mandible: A case report	Hirota M, et al.	口腔外科

NO.	発行元	題名	著者	所属部門
214	日本口腔診断学会誌	上顎洞内迷入歯摘出術に対するナビゲーションシステムの使用経験	岩井俊憲 他	口腔外科
215	日本口腔診断学会誌	透視下に除去した下頸管内異物の1例	岩井俊憲 他	口腔外科
216	形成外科	顎頸面骨折に対するナビゲーション支援手術の経験	岩井俊憲 他	口腔外科
217	日本口腔外科学会誌	下頸関節突起骨折時的小骨片が下頸切痕部に嵌着して閑筋外強直症(pseudoankylosis)を生じた小児の	松井義郎 他	口腔外科
218	Jpn J Ophthalmol	Association of Major Histocompatibility Complex Class I Chain-Related Gene A and HLA-B Alleles with Behcet's Disease in Turkey	Mizuki N, et al.	口腔外科
219	Asian J Oral Maxillofacial Surgery	Peripheral Cemento-ossifying Fibroma.	Matsui Y, et al.	口腔外科
220	昭和大学歯学雑誌	遊離前腕皮弁による即時再建を行った口腔および中咽頭再建症例の臨床的検討	松井義郎 他	口腔外科
221	日本口腔診断学会誌	前歯部歯槽骨切り術の臨床統計的検討	岩井俊憲 他	口腔外科
222	日本口腔外科学会誌	蒂状疱疹により歯の自然脱落と歯槽骨壊死をきたした2例	太田信介 他	口腔外科
223	頭頸部癌	浅側頭動脈よりの超選択性動注法(HFT法)を用いた連日同時放射線化学療法—進行口腔癌の原発腫存に対する検討—	光藤健司 他	口腔外科
224	Cancer Chemother Pharmacol	Pretreatment with 5-FU enhances cisplatin cytotoxicity in head and neck squamous cell carcinoma	Adachi M, et al.	口腔外科
225	頭頸部癌	口腔癌に対する浅側頭動脈より超選択性動注法(HFT法)を用いた連日同時放射線療法—頭部リンパ	藤内 祝 他	口腔外科
226	Int J Cancer, 120(3):702-13, 2007.	PPARgamma inhibitors reduce tubulin protein levels by a PPARgamma, PPARdelta and proteasome-independent mechanism, resulting in cell cycle arrest, apoptosis and reduced metastasis of colorectal carcinoma cells.	Takahashi H	消化器内科
227	Endocr J, 54(1):153-62,2007.	Changes in serum sex hormone profiles after short-term low-dose administration of dehydroepiandrosterone (DHEA) to young and elderly persons.	Yamada Y	消化器内科
228	J Pharmacol Sci, 103(1):24-32,2007	Blockade of leukotriene B4 signaling pathway induces apoptosis and suppresses cell proliferation in colon cancer.	Ihara A	消化器内科
229	Clin Cancer Res, 13(3):902-11,2007	FOXP3+ regulatory T cells affect the development and progression of hepatocarcinogenesis.	Kobayashi N	消化器内科
230	J Gastroenterol Hepatol, 22(3):445,2007.	Education and imaging. Gastrointestinal: diphyllobothriasis	Goto K	消化器内科
231	J Gastroenterol, 42(1):70-8,2007.	Clinical significance of the duodenal papilla in patients with separate orifices for the bile and pancreatic ducts.	Kubota K	消化器内科
232	Alcohol Clin Exp Res, 31(1 Suppl):S15-21,2007.	Hypoapoproteinemia plays a crucial role in the development of nonalcoholic Fatty liver disease in patients with type 2 diabetes mellitus independent of visceral adipose tissue.	Yoneda M	消化器内科
233	Cancer Sci, 98(5):636-43,2007.	Critical role of estrogen receptor on anoikis and invasion of squamous cell carcinoma.	Ishida H	消化器内科
234	Digestion, 74(3-4):238,2007.	Two cases of pyloduodenal stenosis: the efficiency of gastric emptying evaluation using <sup>13</sup> C continuous breath test (BreathID System).	Inamori M	消化器内科
235	Dig Dis Sci, 52(12):3455-64,2007.	Telmisartan, An Angiotensin II Type 1 Receptor Blocker, Controls Progress of Nonalcoholic Steatohepatitis in Rats.	Fujita K	消化器内科
236	Gut, 56(9):1330-1,2007.	Transient elastography in patients with non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD).	Yoneda M	消化器内科
237	Digestion, 75(2-3):99,2007.	Protein-losing gastroenteropathy and gastric polyps: successful treatment by Helicobacter pylori eradication.	Inamori M	消化器内科
238	Digestion, 75(2-3):100,2007.	Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices with plural draining veins: effectiveness of coil embolization for collaterals.	Yoneda M	消化器内科
239	Digestion, 75(2-3):98,2007.	Protein-losing gastroenteropathy in a patient with pityriasis rubra pilaris.	Iida H	消化器内科
240	J Gastroenterol, 42(5):375-81,2007	Type IV collagen 7s domain is an independent clinical marker of the severity of fibrosis in patients with nonalcoholic steatohepatitis before the cirrhotic stage.	Yoneda M	消化器内科
241	Digestion, 75(2-3):103,2007.	Colocutaneous fistula after percutaneous endoscopic gastrostomy.	Inamori M	消化器内科
242	J Gastroenterol ,42(7):539-42,2007.	Early effects of peppermint oil on gastric emptying: a crossover study using a continuous real-time <sup>13</sup> C breath test	Inamori M	消化器内科
243	J Gastroenterol, 42(6):510-1,2007.	Is oral combination therapy with a proton-pump inhibitor and H2 receptor antagonist effective as initial treatment?	Inamori M	消化器内科
244	J Gastroenterol, 42(7):573-82,2007.	High-sensitivity C-reactive protein is an independent clinical feature of nonalcoholic steatohepatitis (NASH) and also of the severity of fibrosis in NASH	Yoneda M	消化器内科
245	Digestion, 75(2-3):144,2007.	Knee pain and swelling secondary to ulcerative colitis.	Inamori M	消化器内科
246	Digestion, 75(2-3):145,2007.	Gastric bleeding after endoscopic injection sclerotherapy for esophageal varices.	Abe Y	消化器内科
247	Digestion, 75(2-3):164,2007.	Argon plasma coagulation for a bleeding gastrointestinal stromal tumor.	Inamori M	消化器内科
248	Digestion, 75(4):179,2007.	Recovery of a Misinserted Gastrostomy Tube during Replacement: Effectiveness of Gastropexy Using a 'Funada Style' Kit.	Inamori M	消化器内科

INO.	不注記	題名	著者	所属部門
249	Digestion, 75(4):180,2007.	Utility of Endoscopic Argon Plasma Coagulation in the Treatment of Radiation	Takahashi H	消化器内科
250	J Viral Hepat, 14(9):600-7,2007.	Hepatitis C virus directly associates with insulin resistance independent of the visceral fat area in nonobese and nondiabetic patients.	Yoneda M	消化器内科
251	Diabetes Res Clin Pract, 79(1):e13-4,2008.	Hepatic fat content-independent association of the serum level of gamma-glutamyltransferase with visceral adiposity, but not subcutaneous adiposity.	Yoneda M	消化器内科
252	Digestion, 75(4):181,2007	Usefulness of Transnasal Ultrathin Endoscopy for the Placement of a Postpyloric Decompression Tube.	Endo H	消化器内科
253	Hum Mol Genet, 16(24):3017-26,200	Association of single-nucleotide polymorphisms in MTMR9 gene with obesity.	Yoneda M	消化器内科
254	Intern Med, 46(18):1621-2,2007.	Lupus enteritis detected by capsule	Endo H	消化器内科
255	Digestion, 75(4):198,2007.	Rectal Fecaloma: Successful Treatment Using Endoscopic Removal.	Inamori M	消化器内科
256	Intern Med, 46(19):1633-9,2007.	Serum butyrylcholinesterase is strongly associated with adiposity, the serum lipid profile and insulin resistance.	Yoneda M	消化器内科
257	J Pharmacol Sci, 105(2):151-6,2007	Life style-related diseases of the digestive system: gene expression in nonalcoholic steatohepatitis patients and treatment strategies.	Yoneda M	消化器内科
258	J Pharmacol Sci , 105(2):138-44,200	Lifestyle-related diseases of the digestive system: a new in vitro model of hepatitis C virion production: application of basic research on hepatitis C virus to clinical medicine.	Saito S	消化器内科
259	J Pharmacol Sci,105(2):133-7,2007.	Life style-related diseases of the digestive system: endocrine disruptors stimulate lipid accumulation in target cells related to metabolic syndrome.	Nakajima A	消化器内科
260	J Pharmacol Sci,105(2):129-32,2007	Life style-related diseases of the digestive system: colorectal cancer as a life style-related disease: from carcinogenesis to medical treatment.	Takahashi H	消化器内科
261	J Pharmacol Sci, 105(2):127-8,2007	Life style-related diseases of the digestive system: from molecular mechanisms to therapeutic strategies: preface.	Nakajima A	消化器内科
262	Cancer Res , 67(20):9903-12,2007.	Interleukin-4 cytotoxin therapy synergizes with gemcitabine in a mouse model of pancreatic ductal adenocarcinoma.	Shimamura T	消化器内科
263	Endoscopy , 39(S 1):E264 ,2007.	Giant subcutaneous abscess after percutaneous endoscopic gastrostomy.	Inamori M	消化器内科
264	Endoscopy , 39(S 1):E242,2007.	Sclerosant extravasation following endoscopic injection sclerotherapy for bleeding gastric varices.	Akimoto K	消化器内科
265	Clin Cancer Res, 13(21):6527-6531,2007.	5-Aminosalicylic Acid Given in the Remission Stage of Colitis Suppresses Colitis-Associated Cancer in a Mouse	Ikeda I	消化器内科
266	Gastrointest Endosc, 66(6):1142-1151, 2007.	Clinical factors predictive of spontaneous remission or relapse in cases of autoimmune pancreatitis.	Kubota K	消化器内科
267	Pancreas, 35(4):e51-60, 2007.	Clinical significance of swollen duodenal papilla in autoimmune pancreatitis.	Kubota K	消化器内科
268	Dig Liver Dis, 40(5): 371-8, 2008.	Noninvasive assessment of liver fibrosis by measurement of stiffness in patients with nonalcoholic fatty liver disease (NAFLD)	Yoneda M	消化器内科
269	World J Gastroenterol, 14(5) : 805-7, 2008.	Levovist ultrasonography imaging in intracystic hemorrhage of simple liver cyst.	Akiyama T	消化器内科
270	J Hepatobiliary Pancreat Surg, 15(2) : 169-77, 2008.	Characterization of K-ras Gene Mutations in Association with Mucinous Hypersecretion in Intraductal Papillary-Mucinous Neoplasms.	Kobayashi N	消化器内科
271	Hepato-Gastroenterology, accepted in 2007.	Effective treatment for advanced hepatocellular carcinoma with portal venous invasion using a combination therapy of intra-arterial 5-fluorouracil and subcutaneous pegylated-interferon-alpha-	Mawatari H	消化器内科
272	Hepato-Gastroenterology, Accepted in 2007.	Clinicopathological study of resected cases with primary carcinoma of the cystic duct.	Kubota K	消化器内科
273	J Gastroenterol Hepatol, accepted in 2007.	EDUCATION AND IMAGING Gastrointestinal: Intestinal spirochetosis.	Inamori M	消化器内科
274	Gastrointestinal Endoscopy, Accepted in 2007.	Tumorous arteriovenous malformation in the jejunum missed by capsule endoscopy.	Endo H	消化器内科
275	Annals of surgery	Activities of daily living and quality of life of elderly patients after elective surgery for gastric and colorectal cancers.	Amemiya T, Shimada H, et al.	消化器・肝移植外科
276	PLoS ONE. 2008 Sep 12;3(9):e3206.	Net positive charge of HIV-1 CRF01_AE V3 sequence regulates viral sensitivity to humoral immunity.	Naganawa S, Ishigatsubo Y, et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
277	Mod Rheumatol. 2008 Aug 6.	The efficacy and safety of bucillamine as a second-line DMARD in the treatment of rheumatoid arthritis: a retrospective cohort study.	Suda A, Ishigatsubo Y, et.al,	リウマチ・血液・感染症内科

NO.	社説	題名	著者	所属部門
278	J Allergy Clin Immunol. 2008 Aug;122(2):290-7, 297.e1-8.	Heme oxygenase 1 attenuates the development of atopic dermatitis-like lesions in mice: implications for human disease.	Kirino Y, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
279	Med Oncol. 2008 Jun 21.	Features of primary extranodal lymphoma in Kanagawa, a human T-cell leukemia virus type 1 nonendemic area in Japan.	Fujita H, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
280	Osteoporos Int. 2008 May 6.	Outcomes after switching from one bisphosphonate to another in 146 patients at a single university hospital.	Ideguchi H, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
281	Clin Vaccine Immunol. 2008 May;15(5):897-9.	Diagnosis of tuberculous meningitis due to detection of ESAT-6-specific gamma interferon production in cerebrospinal fluid enzyme-linked immunospot assay.	Murakami S, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
282	Intern Med. 2008;47(5):379-83.	Thiotepa/cyclophosphamide/TBI as a conditioning regimen for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in patients aged 50 years and over.	Fujimaki K, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
283	Arthritis Res Ther. 2008;10(1):R16.	Association of reduced heme oxygenase-1 with excessive Toll-like receptor 4 expression in peripheral blood mononuclear cells in Behcet's disease.	Kirino Y, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
284	Biochem J. 2008 May 1;411(3):581-91.	Proteasome-dependent degradation of alpha-catenin is regulated by interaction with ARMC8alpha.	Suzuki T, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
285	Int J Lab Hematol. 2008 Feb;30(1):53-7.	Adjuvant radiotherapy to an initial bulky mass in diffuse large B-cell lymphoma: lack of survival benefit.	Tomita N, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
286	Rheumatology (Oxford). 2007 Oct;46(10):1621-2.	Successful treatment of refractory lupus-associated haemophagocytic lymphohistiocytosis with infliximab.	Ideguchi H, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
287	Clin Lung Cancer. 2007 Jul;8(7):436-8.	Metastatic brain mass caused by slow-growing small-cell lung cancer: differential vascular endothelial growth factor expression in primary and metastatic tumor.	Inoue S, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
288	Am J Hematol. 2007 Dec;82(12):1106-9.	Remission of lymphoma after withdrawal of methotrexate in rheumatoid arthritis: relationship with type of latent Epstein-Barr virus infection.	Miyazaki T, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
289	Osteoporos Int. 2007 Oct;18(10):1421-7.	Persistence with bisphosphonate therapy including treatment courses with multiple sequential bisphosphonates in the real world.	Ideguchi H, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
290	Int J Hematol. 2007 Apr;85(3):242-5.	Quantification of circulating varicella-zoster virus DNA for follow-up in a case of visceral varicella-zoster infection ameliorated with intravenous acyclovir.	Ishizawa J, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
291	Gene. 2007 Jul 15;396(2):236-47.	RanBPM, Muskelin, p48EMLP, p44CTLH, and the armadillo-repeat proteins ARMC8alpha and ARMC8beta are components of the CTLH complex.	Kobayashi N, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
292	Hum Pathol. 2007 Jul;38(7):1081-91.	Prognostic value of integrin beta1-ILK-pAkt signaling pathway in non-small cell lung cancer.	Okamura M, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
293	J Clin Rheumatol. 2007 Apr;13(2):73-8.	Risk factors associated with the cumulative survival of low-dose methotrexate in 273 Japanese patients with rheumatoid arthritis.	Ideguchi H, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
294	Cancer. 2007 Mar 15;109(6):1146-51.	Comparison of peripheral T-cell lymphomas and diffuse large B-cell lymphoma.	Tomita N, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
295	Lupus. 2007;16(1):59-64. Review.	Catastrophic antiphospholipid syndrome associated with malignancies (case report and review of the literature).	Ideguchi H, Ishigatubo Y. et.al,	リウマチ・血液・感染症内科
296	Arthritis Rheum. 2007 Feb;56(2):464-75.	Tumor necrosis factor alpha acceleration of inflammatory responses by down-regulating heme oxygenase 1 in human peripheral monocytes.	Kirino Y, Ishigatubo Y. et.al.	リウマチ・血液・感染症内科
297	血液・腫瘍科, 55:384-386, 2007.	初診時に中枢神経内に腫瘍形成を認めたgranulocytic sarcoma	加藤沙絵, 富田直人, 藤田敦子, 桑原英幸, 兵理絵, 山崎悦子, 藤澤信, 石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
298	感染症学雑誌, 81:291-296, 2007.	閉塞性細気管支炎に肺アスペルギルス症が続発したと考えられた母娘例	田川暁大, 織貫祐司, 林美保, 篠原岳, 小林慎一郎, 銚持広知, 小澤聰子, 遠藤高広, 西平隆一, 中村万里, 小倉高志, 高橋宏	呼吸器内科
299	臨床血液, 48:1563-1566, 2007	全身性neurolymphomatosisを発症したびまん性大細胞型リンパ腫.	立花崇季, 富田直人, 上田朝美, 加藤淳, 竹村佐千哉, 田口淳, 鈴木洋司, 笠原正男, 石ヶ坪良明, 藤田浩之	リウマチ・血液・感染症内科
300	日本呼吸器学会雑誌, 45:455-459, 2007.	高度呼吸不全を呈した特発性肺線維症急性増悪におけるシレペスタットナトリウム使用成績と予後因子のアメニシバ選択による閉塞性細気管支炎が疑われた母娘例	中村万里, 小倉高志, 宮澤直幹, 田川暁大, 小澤聰子, 織貫祐司, 高橋宏	呼吸器内科
301	日本呼吸器学会雑誌, 45:81-86, 2007	Imatinib治療開始後一年以内に急性転化をきたした慢性骨髓性白血病の2例	林美保, 田川暁大, 小倉高志, 小澤聰子, 中村万里, 織貫祐司, 高橋宏	呼吸器内科
302	臨床血液, 48:297-304, 2007.	腎性貧血に対するエリスロポエチン製剤投与中に発症した赤芽球病の検討.	宮崎拓也, 尾島孝滋, 高崎啓孝, 田中正嗣, 神田善伸, 丸田亮郎, 東原正	リウマチ・血液・感染症内科
303	臨床血液, 48:391-396, 2007.	腎性貧血に対するエリスロポエチン製剤投与中に発症した赤芽球病の検討.	宮崎拓也, 尾島孝滋, 高崎啓孝, 田中正嗣, 山路聰, 鈴巻克通, 藤田浩之, 金森平和, 石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
304	無菌生物, 37:94-99, 2007.	同種造血幹細胞移植後のHHV-6脳症発症に関する因子の検討	本橋賢治, 酒井リカ, 高林真紀, 江中牧子, 金森平和, 丸田亮郎, 大島理加, 橋本千寿子, 本村茂樹, 吉田力, 関山晶子, 小澤悦子, 田中正嗣, 石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
305	日本皮膚科アレルギー・接触皮膚炎学会雑誌, 1:119-123, 2007.	インフルエンザHAワクチンによる薬疹	渡辺千恵子, 相原道子, 工藤誠, 金子猛, 高橋さなみ, 池澤善郎	リウマチ・血液・感染症内科
306	リウマチ科, 3:7-12, 2007	関節リウマチ画像診断の有用性】関節超音波検査における滑膜炎スコアリング	井畠憲, 石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
307	血液・腫瘍科, 55:235-239, 2007.	腫瘍細胞のバージング	金森平和	リウマチ・血液・感染症内科
308	結核・日本臨床, 65:1308-1313, 2007	特集生物学的製剤の免疫薬理と臨床テーマ	岳野光洋, 村上修司, 石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科

INO.	不記載	題目	発表者	所属部門
309	Medicina, 44:588, 591, 2007.	目で見るトレーニング問題473	立花崇孝	リウマチ・血液・感染症内科
310	日本医事新報, 4343:57-62, 2007	リンパ節腫脹のない悪性リンパ腫—実地医家が知つておくべき節外性リンパ腫	富田直人	リウマチ・血液・感染症内科
311	日本臨床, 65(suppl2, 新感染症学):502-507, 2007.	呼吸器領域における耐性菌の現状と対策	綿貫祐司	呼吸器内科
312	日経メディカル:46-53, 2007.	かぜ症候群, ガイドライン外来診療2007	綿貫祐司	呼吸器内科
313	インフェクションファイル, 24:3-6, 2007.	耐性インフルエンザ菌—最近の状況と治療の考え方	綿貫祐司, 岩田敏	呼吸器内科
314	朝倉書店, 東京, 158-160, 2007.	治療学免疫療法内科学(杉本恒明, 矢崎義雄総編集)	石ヶ坪良明	リウマチ・血液・感染症内科
315	薬事日報社, 東京, 367-370, 2007.	後天性免疫不全症候群[HIV感染症]薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト(星惠子編集代表)	上田敦久	リウマチ・血液・感染症内科
316	薬事日報社, 東京, 362-367, 370-372, 2007.	全身性強皮症, 多発性筋炎・皮膚筋炎, シーグレン症候群, 移植免疫薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト(星惠子編集代表)	岳野光洋	リウマチ・血液・感染症内科
317	メディックメディア, 東京, F-2-F-82, 2007	免疫病・アレルギー性疾患・膠原病year note2008(岡庭豊編)	岳野光洋, 片山一朗	リウマチ・血液・感染症内科
318	メディックメディア, 東京, pp1063-1074, 2007	Behcet(ペーチエット)病の診断と治療, Year note2007別冊(岡庭豊編)	岳野光洋	リウマチ・血液・感染症内科
319	メディックメディア, 東京, F20?23, 2007	Behcet病, イヤーノート・アトラス第3版(市川和雄, 木口英子編)	岳野光洋	リウマチ・血液・感染症内科
320	EBM 血液疾患の治療2008-2009. 中外医学社, 590-597, 2007.	真菌感染症のsurrogate markers を用いたpreemptive therapyの有効性は?	藤田浩之	リウマチ・血液・感染症内科
321	日本臨床, 65:380-383, 2007.	造血管腫瘍基礎・臨床領域における最新の研究動向—臨床治療法化学療法薬剤の適正使用(解説)/特	藤田浩之	リウマチ・血液・感染症内科
322	Acta Anaesthesiol Scand	Evaluation of the Airway Scope, a new video laryngoscope, in tracheal intubation by naive operators : a manikin study	Tomoko Miki, Inagawa Gaku, Tatsushi Kikuchi, Yukihide Koyama, Takahisa Goto	麻酔科
323	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	High tidal volume ventilation induces lung injury after hepatic ischemia-reperfusion	Shuhei Ota, Kyota Nakamura, Takuwa Yazawa, Yosuke Kawaguchi, Yasuko Baba, Ritsuko Kitaoaka, Naoto Morimura, Takahisa Goto, Yoshitsugu Yamada, Kiyoyasu Kurahashi	麻酔科
324	Anesthesia	Comparison of the Airway Scope, gum elastic bougie and fiberoptic bronchoscope in simulated difficult tracheal intubation : a manikin study	Koyama Y, Inagawa G, Miyashita T, Kikuchi T, Miura N, Miki T, Kurihara R, Kamiya Y, Goto T	麻酔科
325	Anesth Analg	The use of three-dimensional computed tomography images for anticipated difficult intubation airway evaluation of a patient with Treacher Collins	Yusuke Nagamine, Kiyoyasu Kurahashi	集中治療部
326	Brain Res	The glycosylation state of Kv1.2 potassium channels affects trafficking, gating, and simulated action potentials	Watanabe I, Zhu J, Sutachan JJ, Gottschalk A, Recio-Pinto E, Thornhill WB	麻酔科
327	Human Gene Therapy	Keratinocyte growth factor gene transduction ameliorates acute lung injury and mortality in mice	Yasuko Baba, Takuwa Yazawa, Yumi Kanegae, Seiko Sakamoto, Izumi Saito, Naoto Morimura, Takahisa Goto, Yoshitsugu Yamada, Kiyoyasu	麻酔科
328	J Biol Chem	Ca2+ signaling in microdomains : Homer1 mediates the interaction between RyR2 and Cav1.2 to regulate excitation-contraction coupling	Huanag G, Kim JY, Dehoff M, Mizuno Y, Kammer KE, Worley PF, Mualem S, Zeng W	麻酔科
329	J Clin Anesth	The Airway Scope for difficult intubation	Kurihara R, Inagawa G, Kikuchi T, Koyama Y, Goto T	麻酔科
330	Mol Membr Biol	Kv1 potassium channel C-terminus constant HRETE region : arginine substitution affects surface protein level and conductance level of subfamily members	Zhu J, Gomez B, Watanabe I, Thounhill WB	麻酔科
331	Paediatr Anaesth	A simple method to reduce the inspiratory oxygen fraction for high pulmonary blood flow patients in an operating room	Asakura A, Miyashita T, Fujimoto J, Morimura N, Kurahashi K, Yamada Y	麻酔科
332	Pharmacoeesthesiology	Validation of antiemetics' proarrhythmia in Guinea Pig Myocardium Electrophysiologic actions of Ondansetron and Droperidol.	Katsuhiro Senami, Takahisa Goto	麻酔科
333	Vascul Pharmacol	Alterations of intracellular calcium concentration and nitric oxide generation in pulmonary artery endothelium after subarachnoid hemorrhage of the	Kubota Y, Isotani E, Mizuno Y, Ohno K, Azuma H	麻酔科
334	Clin Eng	酸素療法に必要な病態生理に関する知識	大塚将秀	集中治療部
335	ICUとCCU	β受容体遮断薬、α受容体作動薬、スタチンの周術期投与と長期予後	水谷健司、後藤隆久	集中治療部
336	ICUとCCU	股関節脱臼整復術中に発症した肺塞栓症にたいしてPCPSを用いて救命した1症例	佐藤仁	麻酔科
337	LiSA	病棟における気道確保と緊急気管挿管—COPDの急性増悪: COPDの病態生理を理解した呼吸管理を—	刈谷隆之、大塚将秀	集中治療部
338	Medical Rehabilitation	呼吸管理と換気モード	大塚将秀	集中治療部
339	ペインクリニック	HTLV-1関連脊髄症(HAM)による腰下肢のしびれと疼痛に対して腰部交換神経節ブロックが有効であった	小川賢一、中橋勇典、佐伯美奈子、後藤隆久	麻酔科
340	横浜医学	ラット大脳皮質ニューロンの活性酸素レベルに対するイソフランの効果	越後憲之、斎藤百合子、紙谷義孝、山田芳嗣、後藤隆久、安藤富男	麻酔科
341	救急・集中治療	重症喘息発作患者の輸液管理	大塚将秀	集中治療部
342	月刊ナーシング	必ずわかる人工呼吸器換気モードと呼吸モニタ波形: 換気モード、呼吸モニタの理解のための事例紹介	藤本潤一	集中治療部
343	月刊ナーシング	必ずわかる人工呼吸器換気モードと呼吸モニタ波形: 換気モード、呼吸モニタ波形の理解のための基礎知識	大塚将秀	集中治療部
344	呼吸と循環	人工呼吸器の新しい換気モード	大塚将秀	集中治療部
345	呼吸器ケア	グラフィックモニターの読み方: 危ないグラフィック波形とその対処	大塚将秀	集中治療部
346	日本医事新報	Q&A回答: 鼠径部からの針留置による末梢点滴の是非	大塚将秀	集中治療部
347	臨床麻酔	レミフェントニル投与時のシリンジポンプ設定ミスとその後の対策	菊地龍明	手術部
348	The International Symposium of Foundation for Promotion of Cancer Research, 20: 45-46, 2007.	Physiological changes and QOL of cancer patients after radical surgery : QOL after treatment of gynecological cancer.	Chaki O	産婦人科
349	J Bone and Miner Res, 22: s409, 2007.	Oral bisphosphonate treatment prevents the changes of bone mineral density and bone biomarkers in postmenopausal Japanese women with early breast cancer treated with aromatase inhibitor.	Chaki O	産婦人科
350	Placenta, 28: 224-232, 2007.	Paradoxical discrepancy between the serum level and placental intensity of PP5/TFPI-2 in preeclampsia and/or intrauterine growth restriction: possible interaction and correlation with glycan-3 hold the key.	Ogawa M	産婦人科
351	J Obstet Gynaecol Res, 33: 254-258, 2007.	A prospective study of intaramuscular ergometrine compared with intramuscular oxytocin for prevention of postpartum hemorrhage.	Saito K	産婦人科
352	Fetal Diagn Ther, 22: 383-388, 2007.	Fetus-in-fetu: Parasite or Neoplasm?	Saito K	産婦人科
353	Acta Cytologica, 51(4):533-540, 2007.	Endometrial aspiration cytology for diagnosis of peritoneal lesion in extrauterine malignancies.	Saji H	産婦人科

NO.	題名	著者	抄録
354	J Bone and Miner Res, 21: W252, 2007.	Kurasawa K	Longitudinal study of changes in bone mineral density in women undergoing screening for osteoporosis.
355	J Bone and Miner Res, 22: s425, 2007.	Kurasawa K	Longitudinal study of changes in bone mineral density in women undergoing screening for osteoporosis.
356	Endocrinology, 148(9): 4173-4184, 2007	Kashiwagi A	The postimplantation embryo differentially regulates endometrial gene expression and CYP17 and COMT gene polymorphisms can influence bone directly, or indirectly through their effects on endogenous sex steroids, in postmenopausal Japanese women.
357	Bone, 40: 28-36, 2007.	Gorai I	Frequency of intrinsic pulsatile secretion is regulated by the expression of cyclic nucleotide gated channels in GT1 cells.
358	Endocrinology, 148(7): 3299-3306, 2007	Yoshida H	CYP17 and COMT gene polymorphisms can influence bone directly, or indirectly through their effects on endogenous sex steroids, in postmenopausal Japanese women.
359	臨床婦人科産科, 61(3): 215-217, 2007.	平原史樹	産科医師の勤務状況 特集【周産期医療の崩壊を防ごう】
360	THE BONE, 21(1): 143, 2007.	中山昌樹	海外文献紹介
361	THE BONE, 21(2): 261, 2007	中山昌樹	海外文献紹介
362	THE BONE, 21(3): 377, 2007	中山昌樹	海外文献紹介
363	THE BONE, 21(4): 503, 2007	中山昌樹	海外文献紹介
364	THE BONE, 21(5): 661, 2007.	中山昌樹	海外文献紹介
365	医療判例解説, 8: 86-89, 2007.	中山昌樹	分娩後の大量出血は弛緩出血でなく、羊水塞栓等を原因としたDICであるとした;死胎児症候群とは別要因でのDIC、予測は不可能。
366	医療判例解説, 11: 103-106, 2007.	中山昌樹	帝王切開後、腹腔内出血で妊婦が死亡したことによる容態急変への対応について;地方の産科医療の現状が浮き彫りになった典型事例。
367	日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌, 43(2): 85-88, 2007	小野瀬 亮	平成17年度神奈川県産科婦人科医会婦人科悪性腫瘍登録集計報告
368	日本遺伝カウンセリング学会誌, 27(2): 59-63, 2007	山中美智子	妊娠22週未満に紹介された胎児異常例の転帰と我が国の動向
369	日本周産期・新生児医学会雑誌, 43(1): 62-69, 2007.	石川浩史	妊婦の葉酸に関する意識に影響する社会背景因子の検討
370	周産期医学, 37(5): 555-559, 2007.	石川浩史	周産期からみた食育・葉酸摂取の重要性。特集【周産期からみた食育】
371	栄養評価と治療, 24(1): 43-46, 2007.	石川浩史	妊娠婦の栄養アセスメント(ビタミン)。特集【妊娠婦の栄養代謝ヒアセスメント】。
372	ペリネイタルケア, 夏期増刊(Suppl): 142-149, 2007.	石川浩史	異常妊娠編 過期妊娠・特集【ハイリスク妊娠ハイマリケア 周産期スタッフのための実践的診療指針】
373	ペリネイタルケア, 26(7), 2007.	石川浩史	前回弛緩出血・特集【健診でラブルの芽をつみとする妊娠・分娩既往に基づいてリスク予測と診療の実践】
374	産婦人科治療, 95: 55-60, 2007.	奥田美加	妊娠における風疹抗体価
375	神奈川医学会雑誌, 34: 26, 2007.	奥田美加	先天性風疹症候群発生予防のためのアンケート調査報告
376	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 43(2): 118-123, 2007.	奥田美加	先天性風疹症候群発生予防のためのアンケート調査報告
377	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 43: 134-135, 2007.	奥田美加	先天性風疹症候群発生予防のためのアンケート調査報告
378	産科と婦人科, 74: 1024-1029, 2007.	奥田美加	漿膜下子宮筋腫の妊娠中離断
379	産婦人科の実際, 56(2): 257-260, 2007.	奥田美加	妊娠における風疹抗体価の評価
380	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 44 (1): 36-39, 2007.	奥田美加	当センターにおける産褥風疹ワクチンの実施状況ー第二報ー接種率の変遷
381	日本産科婦人科学会雑誌, 59: 546, 2007.	鈴木理絵	当院における胎児異常を認めた双胎妊娠症例の検討
382	日本遺伝カウンセリング学会誌, 28: 65, 2007.	鈴木理絵	26歳までホルモン補充が行われず放置された混合型性腺異形成症の1例。
383	日本周産期・新生児医学会雑誌, 43: 641, 2007.	鈴木理絵	出生前から頭蓋骨外胚葉異形成を疑われた2例。
384	周産期新生児誌, 43(3): 695-700, 2007.	斎藤圭介	出生前に先天性囊胞状腺腫様肺奇形(CCAM)と診断された13例の臨床経過。
385	Osteoporosis Japan, 15 : 496-499, 2007.	倉澤健太郎	継続率からみた閉経後骨粗鬆症患者の治療薬 アレンドロネートと塩酸ラロキシンの比較
386	日本産科婦人科学会雑誌, 59: 738, 2007.	倉澤健太郎	骨粗鬆症検診受診者における骨密度変化の継続研究
387	SERM: Selective Estrogen Receptor Modulator, 5: 92-93, 2007.	倉澤健太郎	塩酸ラロキシン服用におけるアドヒアランスの向上を目指して
388	Osteoporosis Japan, 15 (Suppl): 152, 2007.	野村可之	若年女性における骨密度測定の有用性について
389	日本産科婦人科学会雑誌, 59: 702, 2007.	永田智子	CAOS (Chronic abruption-oligohydranios sequence) 慢性早剥羊水過少症候群の周産期予
390	日本遺伝カウンセリング学会誌, 28: 54, 2007.	永田智子	当センターで出生した21トリソミー児の検討
391	日本周産期・新生児医学会雑誌, 43: 635, 2007.	永田智子	胎児期に胸腔内囊胞で発見された食道重複症(前腸奇形foregut malformation)の1例。
392	日本周産期・新生児医学会雑誌, 43: 637, 2007.	丸山康世	胎児腹水を呈した61症例の検討
393	日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報, 44: 31-35, 2007.	片山佳代	骨肉腫に対する骨盤半截術施行後妊娠の1例
394	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 43: 74-76, 2007.	大井由佳	交通事故で妊娠39週にIUFDを来たした1例。
395	日本産科婦人科学会関東連合地方部会会誌, 44(4): 371-376, 2007.	最上多恵	左骨盤腔内に発生した悪性線維性組織球腫の1例。
396	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 44(1): 29-32, 2007.	野中愛子	多発骨髓転移とカゴコラミン産生を呈した卵巢未熟奇形腫由来の神経芽細胞腫の1例。
397	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 43: 133, 2007.	八木瑞穂	妊娠28週に小腸穿通・腸間膜腫瘍をきたしたクローン病合併妊娠の1例。
398	神奈川医学会雑誌, 34: 24, 2007.	八木瑞穂	妊娠28週に小腸穿通・腸間膜腫瘍をきたしたクローン病合併妊娠の1例。
399	日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌, 43: 134, 2007.	水島大一	線維性骨異形成合併症妊娠の1例
400	法社会学, 67: 74-90, 2007.	上杉奈々	産科医療をとりまく社会と法—法の翻訳の試みー
401	第25回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集, 209, 2007.	五來逸雄	CYP17, COMT遺伝子多型は直接的に、あるいは血中性ステロイドホルモンを介して間接的に、日本人閉経後女性の骨密度に影響を与える。
402	日本産科婦人科学会雑誌, 59: 735, 2007.	五來逸雄	血中性ステロイドホルモンを介して間接的に、日本人閉経後女性の骨密度に影響を与える。
403	日本周産期・新生児医学会誌, 43: 748-452, 2007.	高峰紀子	長期生存した三倍体(69,XXX)早産児の一例。
404	日本周産期・新生児医学会雑誌, 43: 310, 2007.	豊島勝昭	一絨毛膜性双胎の胎児・新生児循環の心臓血管内分泌学的検討
405	第25回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集, 260, 2007.	仲村一郎	抗TNF-α 抗体(infliximab)は関節リウマチにおいて関節破壊の進行を抑制する

NO.	本文題名	著者	分野
406	日本周産期・新生児医学会雑誌, 43: 523, 2007.	多彩な症状を呈しステロイドが著効した重症新生児ループスの一例	松倉 崇 産婦人科
407	アレルギー	Pathogenesis and treatment of allergic skin disease, especially, atopic dermatitis, severe cutaneous drug reactions and food allergy –from introduction of study in our department–	池澤善郎 皮膚科学
408	J Invest Dermatol.	Semaphorin3A Alleviates Skin Lesions and Scratching Behavior in NC/Nga Mice, an Atopic Dermatitis Model.	Yamaguchi J, Nakamura F, Aihara M, Yamashita N, Usui H, Hida T, Takei K, Nagashima Y, Ikezawa Z, Goshima Y. 皮膚科学
409	J Allergy Clin Immunol	Heme oxygenase 1 attenuates the development of atopic dermatitis-like lesions in mice: implications for human disease.	Kirino M, Kirino Y, Takeno M, Nagashima Y, Takahashi K, Kobayashi M, Murakami S, Hirasawa T, Ueda A, Aihara M, Ikezawa Z, Ishigatsubo Y. 皮膚科学
410	Eur J Dermatol.	Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma successfully treated with low-dose oral methotrexate.	Fujita H, Nagatani T, Miyazawa M, Wada H, Koiba K, Komatsu H, Ikezawa Z. 皮膚科学
411	アレルギー	Correlation of oral allergy syndrome due to plant-derived foods with alder pollen, rbet v 1 and rbet v 2 sensitization in Yokohama region.	Morita A, Inomata N, Kirino M, Ikezawa Z. 皮膚科学
412	Journal of Dermatological Science	Effects of zinc deficient diet on development of atopic dermatitis-like eruptions in DS/Nh mice.mice.	Takahashi H, Nakazawa M, Takahashi K, Aihara M, Minami M, Hirasawa T, Ikezawa Z. 皮膚科学
413	日本臨床	副作用概論 薬効群別副作用 抗喘息薬 ケミカルメディエータ遊離抑制薬	Onoda M, Inokuma S, Ikezawa Z. 皮膚科学
414	アレルギー	Oral allergy syndrome due to plant-derived foods: a clinical review of 63 patients over a period of 6 years.	Inomata N, Morita A, Kirino M, Yamazaki H, Yamaguchi J, Yamane Y, Tatewaki S, Hirokado M, Kondo M, Ikezawa Z. 皮膚科学
415	アレルギー	Drug hypersensitivity, 3. Pathomechanism and treatment of severe cutaneous drug reactions. Analysis of Stevens-Johnson syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis in Japan from 2000 to 2005	池澤善郎 皮膚科学
416	Allergol Int	Toxic Epidermal Necrolysis in Japan from 2000 to 2005	Yamane Y 皮膚科学
417	Journal of Dermatological Science	Effects of tributyltin on the emotional behavior of C57BL/6 mice and the development of atopic dermatitis-like lesions in DS/Nh mice	Ohtaki K 皮膚科学
418	Allergol Int	Late-onset Anaphylaxis after Ingestion of <i>Bacillus Subtilis</i> -fermented Soybeans (Natto): Clinical Review of 7 Patients.	Inomata N 皮膚科学
419	日本臨床 新感染症学 上	Allergy, Adverse effects and safety of antimicrobial agents.	池澤善郎 皮膚科学
420	Biosci Biotechnol Biochem.	Improvement of digestibility, reduction in allergenicity, and induction of oral tolerance of wheat gliadin by deamidation.	Kumagai H, Suda A, Sakurai H, Kumagai H, Arai S, Inomata N, Ikezawa Z. 皮膚科学
421	Br J Dermatol.	The diagnosis of a DRESS syndrome has been sufficiently established on the basis of typical clinical features and viral reactivations.	Shiohara T, Iijima M, Ikezawa Z, Hashimoto K. 皮膚科学
422	J Dermatol	Safety of selective cyclooxygenase-2 inhibitors and a basic non-steroidal anti-inflammatory drug (NSAID) in Japanese patients with NSAID-induced urticaria and/or angioedema: Comparison of meloxicam, etodolac and tiaramide	Inomata N, Osuna H, Yamaguchi J, Onoda M, Takeshita Y, Chiba Y, Kambara T, Ikezawa Z. 皮膚科学
423	アレルギー	シーフードによる職業性の接触荨麻疹と口腔アレルギー症候群の1例	Yamaguchi J, Inomata N, Hirokado M, Shimakura K, Shiomi K, Ikezawa Z. 皮膚科学
424	Invest Ophthalmol Vis Sci.	Genetic polymorphisms in the promoter of the interferon gamma receptor 1 gene are associated with atopic cataracts.	Matsuda A, Ebihara N, Kumagai N, Fukuda K, Ebe K, Hirano K, Sotozono C, Tei M, Hasegawa K, Shimizu M, Tamari M, Namba K, Ohno S, Mizuki N, Ikezawa Z, Shirakawa T, Hamuro J, Kinoshita S. 皮膚科学
425	総合リハ	最新10年間の動向とエビデンス リハビリテーションアプローチ 関節リウマチ	水落和也 リハビリテーション科
426	日本義肢装具学会誌	関節リウマチ尺側偏位防止装具の客観評価	水落和也 リハビリテーション科
427	スモンに関する調査研究班報告書	リハビリテーション介入により障害の進行を予防できた症例	水落和也 リハビリテーション科
428	Rheumatology Clinical Update	関節リウマチとリハビリテーション・QOL装具療	水落和也 リハビリテーション科
429	臨床リハ	熱湯のリハビリテーション	菊地尚久 リハビリテーション科
430	Mod Rheumatol. 2007;17(5):353-63. Epub 2007 Oct 19.	Proposal for juvenile idiopathic arthritis guidance on diagnosis and treatment for primary care pediatricians and nonpediatric rheumatologists (2007)	Yokota S, Mori M, Imagawa T, Takei S, Murata T, Tomita M, Ito Y, Fujikawa S 小児科
431	Int J Hematol. 2007 Oct;86(3):253-60.	Long-term follow-up of busulfan, etoposide, and nimustine hydrochloride (ACNU) or melphalan as conditioning regimens for childhood acute leukemia and lymphoma.	Izaki S, Goto H, Okuda K, Matsuda M, Watanabe Y, Fujioka K, Hanzawa N, Sumita H, Takahashi H, Goto S, Kai S, Sekiguchi H, Funabiki T, Sasaki H, Ikuta K, Yokota S. 小児科
432	Int J Hematol. 2007 Apr;85(3):246-55.	Outcome of non-T-cell-depleted HLA-haploididentical hematopoietic stem cell transplantation from family donors in children and adolescents.	Yoshihara T, Okada K, Kobayashi M, Kikuta A, Kato K, Adachi N, Kikuchi A, Ishida H, Hirota Y, Kuroda H, Nagatoshi Y, Inukai T, Koike K, Kigasawa H, Yagasaki H, Tokuda K, Kishimoto T, Nakano T, Fujita N, Goto H, Nakazawa Y, Kanegae H, Matsuzaki A, Osugi Y, Hasegawa D, Uoshima N, Nakamura K, Tsuchida M, Tanaka R, Watanabe A, Yabe H. 小児科
433	Leuk Res. 2007 Sep;31(9):1293-301. Epub 2007 Feb 16.	Lack of mitochondrial depolarization by oxidative stress is associated with resistance to buthionine sulfoximine in acute lymphoblastic leukemia cells.	Goto H, Yanagimachi M, Kajiwara R, Kuroki F, Yokota S. 小児科
434	Blood. 2007 Mar 1;109(5):2008-13.	In vivo control of acute lymphoblastic leukemia by immunostimulatory CpG oligonucleotides.	Fujii H, Trudeau JD, Teachey DT, Fish JD, Grupp SA, Schultz KR, Reid GS. 小児科

NO.	本文題名	著者	参考文献
435	Blood. 2007 Jun 15;109(12):5477-80.	Spontaneous improvement of hematologic abnormalities in patients having juvenile myelomonocytic leukemia with specific RAS mutations.	Matsuda K, Shimada A, Yoshida N, Ogawa A, Watanabe A, Yajima S, Iizuka S, Koike K, Yanai F, Kawasaki K, Yanagimachi M, Kikuchi A, Ohtsuka Y, Hidaka E, Yamauchi K, Tanaka M, Yanagisawa R, Nakazawa Y, Shiohara M, Manabe A, Kojima S, Koike K.
436	Leukemia. 2007 21(2):288-96.	Hypercalcemia in childhood acute lymphoblastic leukemia: frequent implication of parathyroid hormone-related peptide and E2A-HLF from translocation 17;19	Inukai T, Hirose K, Inaba T, Kurosawa H, Hama A, Inada H, Chin M, Nagatoshi Y, Ohtsuka Y, Oda M, Goto H, Endo M, Morimoto A, Imaizumi M, Kawamura N, Miyajima Y, Otake M, Miyaji R, Saito M, Tawa A, Yanai F, Goi K, Nakazawa S, Sugita K
437	Pediatric Reserch. 2007	Interleukin-15 inhibits cell proliferation and hyaluronan production in smooth muscle of rat ductus arteriosus.	Iwasaki S, Minamizawa S, Yokoyama U, Akaike T, Nagashima Y, Nishimaki S, Ishikawa Y, Yokota S
438	臨床検査(0485-1420)52巻1号 Page79-84(2008.01)	【インフルエンザ診療のブレークスルー】抗インフルエンザ薬と異常言動	横田俊平
439	小児感染免疫(0917-4931)19巻4号 Page447-449(2007.12)	感染症と免疫疾患のcross talk 炎症の考え方	横田俊平
440	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻12号 Page1559-1567(2007.12)	インフルエンザに伴う臨床症状の発現状況に関する調査研究(第2報) 薬剤使用と臨床症状発現との関連についての統計解析	藤田利治(文部省統計数理研究所), 森雅亮, 根津敦夫, 奥村彰久, 細矢光亮, 鈴木宏, 森島恒雄, 横田俊平
441	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻12号 Page1545-1558(2007.12)	インフルエンザに伴う臨床症状の発現状況に関する調査研究(第1報) 薬剤使用および臨床症状発現の臨床的検討	横田俊平, 藤田利治, 森雅亮, 根津敦夫, 奥村彰久, 細矢光亮, 鈴木宏, 鈴木ゆめ, 黒岩義之
442	感染症(0301-259X)37巻6号 Page228-231(2007.11)	インフルエンザにおける異常行動	横田俊平
443	小児内科(0385-6305)39巻11号 Page2056-2058(2007.11)	【症例に学ぶ 診断に苦慮する長引く発熱疾患】炎症性筋線維芽細胞性腫瘍	今川智之, 横田俊平
444	リウマチ科(0915-227X)38巻4号 Page397-403(2007.10)	若年性特発性関節炎とマクロファージ活性化症候群 病態の把握と治療のストラテジー	横田俊平
445	日本内科学会雑誌(0021-5384)96巻10号 Page2226-2234(2007.10)	【膠原病 診断と治療の進歩】最近の話題 知っておきたい小児のリウマチ・膠原病	横田俊平
446	小児内科(0385-6305)39巻10号 Page1473-1477(2007.10)	【予防接種Q&A】アメリカの予防接種を決める仕組み Advisory Committee on Immunization Practicesについて	横田俊平
447	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻9号 Page1167-1171(2007.09)	全身型若年性特発性関節炎として加療された腹部炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の1例	中岸保夫, 木下順平, 小澤礼美, 黒澤るみ子, 今川智之, 森雅亮, 山中正二, 原光彦, 横田俊平
448	日本小児リウマチ学会・日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻8号 Page1103-1112(2007.08)	若年性特発性関節炎初期診療の手引き(2007年)	横田俊平, 森雅亮, 今川智之, 武井修治, 村田卓司, 富板美奈子, 伊藤保彦, 藤川敏
449	リウマチ科(0915-227X)38巻1号 Page48-52(2007.07)	小児リウマチ性疾患に対する生物学的製剤の適応と問題点	横田俊平
450	Progress in Medicine(0287-3648)27巻7号 Page1583-1588(2007.07)	病態から考えた治療法の展開 血漿交換療法からサイトカイン遮断療法まで	横田俊平
451	小児科診療(0386-9806)70巻7号 Page1157-1163(2007.07)	【小児のくすり最新情報】小児リウマチ性疾患における抗サイトカイン薬	森雅亮, 横田俊平
452	日本臨床(0047-1852)65巻7号 Page1331-1335(2007.07)	【生物学的製剤の免疫療法と臨床変貌する関節リウマチ治療ストラテジー】若年性特発性関節炎への生物学的製剤の適応と問題点	横田俊平
453	日本医師会雑誌(0021-4493)136巻4別冊 Page73-79(2007.07)	子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して、親子が育つ医師会の地域づくり「米国予防接種の実施」に関する諮問委員会(ACIP)について わが国の予防接種プラン策定に新しいシステムの導入	横田俊平
454	日本臨床免疫学会会誌(0911-4300)30巻3号 Page198-201(2007.06)	ポジトロン断層撮影法がearly pre-pulseless phaseでの早期診断に有用であった大動脈炎症候群の1例 女児例	木下順平, 中岸保夫, 小澤礼美, 黒澤るみ子, 今川智之, 森雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 橋本邦生, 向山徳子, 橋本邦生
455	NEUROINFECTION(1348-2718)12巻1号 Page87-92(2007.06)	インフルエンザ脳症の臨床的解析と発症のメカニズムについて	横田俊平
456	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1065-1070(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】抗IL-6受容体抗体の全身型若年性特発性関節炎への適応と使用上の問題	今川智之, 横田俊平
457	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1042-1050(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】全身型・関節型若年性特発性関節炎の治療の組み立て方 NSAIDsおよびステロイド薬の使用法と小児に対するDMARDsの限界	宮前多佳子, 森雅亮, 今川智之, 横田俊平
458	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1024-1029(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】全身型および多関節型若年性特発性関節炎の画像所見、両者は同じ関節炎か? 画像所見からのアプローチ	稻葉裕, 小澤礼美, 斎藤知行, 横田俊平
459	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page997-1003(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】アプローチ リウマチ性疾患の認識 全身性疾患としての「若年性特発性関節炎」	横田俊平
460	日本医事新報(0385-9215)4332号 Page63-69(2007.05)	小児リウマチ性疾患の新しい治療	横田俊平, 今川智之, 中島章子, 宮前多佳子, 伊藤秀一, 森雅亮
461	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻5号 Page659-665(2007.05)	インフルエンザ脳症特殊治療の全国調査	小林慈典(インフルエンザ脳炎・脳症治療研究会), 富樫武弘, 水口雅, 宮崎千明, 市山高志, 河島尚志, 木村宏, 奥村彰久, 栗原まな, 黒木春郎, 塩見正司, 布井博幸, 細矢光亮, 鍵本聖一, 森島恒雄, 横田俊平
462	小児科診療(0386-9806)70巻5号 Page725-729(2007.05)	【研修医のための外来診療の基本】外来での診かたをどう学ぶか	横田俊平
463	日本医事新報(0385-9215)4330号 Page97(2007.04)	小児インフルエンザの薬物治療	横田俊平
464	小児科診療(0386-9806)70巻増刊 Page3-7(2007.04)	【症候からみた小児の診断学】一般的症候 発熱、持続する発熱	横田俊平
465	内科(0022-1961)99巻4号 Page636-638(2007.04)	【リウマチ治療の新時代 治療薬を使いこなす】特殊な状態に対する配慮 小児	横田俊平

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
466	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻3号 Page462-468(2007.03)	小児期の線維筋痛症3症例の経験	横田俊平, 梅林宏明, 宮前多佳子, 今川智之, 森雅亮	小児科
467	小児科(0037-4121)48巻2号 Page183-188(2007.02)	小児医学最近の進歩 小児リウマチ性疾患における抗CCP抗体の検出率と意義	森雅亮, 中島章子, 横田俊平	小児科
468	小児内科(0385-6305)39巻6号 Page851-853(2007.06)	【プライマリ・ケア医のための関節リウマチの診かた 知っておきたいその基本と最新知見】若年性特発性関節炎の診断と治療	横田俊平	小児科
469	小児内科(0385-6305)39巻6号 Page851-853(2007.06)	【大きく変わりつつある治療法】全身型若年性特発性関節炎のトリズム治療	今川智之	小児科
470	日本臨床免疫学会会誌(0911-4300)30巻2号 Page86-89(2007.04)	【Autoinflammatory syndromeの新たな展開と治療法の確立】高IgD症候群のMVK遺伝子異常と新しい治療法の導入	成戸卓也	小児科
471	小児内科(0385-6305)39巻11号 Page2089-2091(2007.11)	【症例に学ぶ 診断に苦慮する長引く発熱疾患】結核菌感染診断用インターフェロン-γ測定 クォンティフェロン(Quanti FERON-TB2G)	森雅亮	小児科
472	小児科臨床(0021-518X)60巻12号 Page2535-2541(2007.12)	【子どもの薬 私なら今これをこう使う】小児に日常よく使われる薬とその使い方 抗サイトカイン薬	森雅亮	小児科
473	小児内科(0385-6305)39巻10号 Page1631-1632(2007.10)	【予防接種Q&A】BCG・ツベルクリン検査 副反応 3ヶ月前にBCGを受けた左側の腋窩のリンパ節が大きくなりました。どう処置したらよいのでしょうか	森雅亮	小児科
474	小児内科(0385-6305)39巻10号 Page1629-1630(2007.10)	【予防接種Q&A】BCG・ツベルクリン検査 コップ木現象 BCG接種翌日から、接種部位が赤く腫れました。なぜですか。どのようなことが考えられますか。治療はどうしたらよいのでしょうか	森雅亮	小児科
475	小児科(0037-4121)48巻9号 Page1317-1326(2007.08)	小児における深在性真菌性 診断・治療のガイドラインに則して	森雅亮	小児科
476	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1051-1055(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】関節型若年性特発性関節炎に対する国際的標準治療法としてのメトトレキサート療法	森雅亮	小児科
477	ナーシングケア Q&A(1349-0869)16号 Page222-223(2007.05)	【これだけは知っておきたい小児ケアQ&A】小児の感染症と看護 結核について、教えてください	森雅亮	小児科
478	日本小児臨床薬理学会雑誌(1342-6753)19巻1号 Page139-142(2006.12)	リウマチ性疾患へのメトトレキサート(MTX)、抗TNF製剤	森雅亮	小児科
479	化学療法の領域(0913-2384)23巻3号 Page403-409(2007.02)	【変貌する小児感染症の現状と対策】小児科病棟に特有の院内感染症とその対策 院内感染マニュアルの作成に向けて	森雅亮	小児科
480	小児内科(0385-6305)39巻増刊 Page748-750(2007.11)	【小児中枢神経系疾患の画像診断2008】疾患別アトラス編 全身性疾患の中枢神経病変 Behcet病	宮前多佳子	小児科
481	臨床血液48巻6号 Page495-500(2007.06)	骨髓非破壊的前処置を用いた肺蒂血移植後早期の原病再活性化が生着不全に関連した家族性血球食食症候群	柳町昌克, 後藤裕明, 横須賀とも子, 梶原良介, 黒木文子, 伊藤秀一, 横田俊平	小児科
482	小児がん44巻1号 Page9-14(2007.05)	小脳原発髓芽腫の第3再発に対してtopotecan, thiotepa, carboplatinを前処置とした大量化学療法、およびtemozolomideによる維持療法を行い無病生存している8歳男児例	梶原良介, 後藤裕明, 柳町昌克, 黒木文子, 高橋浩之, 横田俊平, 菅野洋, 大村素子	小児科
483	臨床血液(0485-1439)48巻3号 Page223-228(2007.03)	化学療法後の骨髄抑制中に急性虫垂炎を発症した急性白血病の3例	梶原良介, 後藤裕明, 横須賀とも子, 柳町昌克, 黒木文子, 藤井久紀, 高橋浩之, 横田俊平	小児科
484	小児科 48. 237-245, 2007	尿中2-microglobulinを用いた未熟児慢性肺疾患の管理	西巻滋	小児科
485	日本腰痛学会誌	運動型腰椎用CPMIによる長時間着座姿勢における腰痛の予防効果	青田洋一	整形外科
486	頭頸部癌 33:317-321, 2007	舌口腔底再建における工夫	前川二郎	形成外科
487	こども医療センター医学誌 23(2):140-141, 2007	顎発達をしない口蓋裂手術の開発・評価	広富浩一	形成外科
488	形成外科 50:1033-1039, 2007	顔面骨骨折に対するナビゲーション支援手術の経験	前川二郎	形成外科
489	診断と治療 95:747-752, 2007	【浮腫の診断と治療】四肢リンパ浮腫の病態と診断・治療	前川二郎	形成外科
490	あたらしい眼科 24:219-222, 2007	上眼瞼Merkel細胞癌の1例	前川二郎	形成外科
491	形成外科 50:197-203, 2007	小耳症患者の母親109名に対するアンケート調査報告	前川二郎	形成外科
492	日本口腔外科学会雑誌 53:103-107, 2007	頸部に生じた動静脈奇形の1例	前川二郎	形成外科

計 492

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今田 敏夫
管理担当者氏名	総務課長 堀川 尚実 医事課長 谷口 尚三

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録		医事課（病歴室） サーバー室 及び関係記録部課	病歴資料については、個々の患者ごとに作成・保管管理（1患者1カルテ） 電子カルテ稼動後のデータについては、セキュリティを確保したサーバー室にて保管・管理 処方箋は薬剤部で管理 X線写真は病歴室で保管・管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の提供の実績	医事課（病歴室）	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課（病歴室）	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
	確規保則の第9条の2及び第3条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	
		医療安全管理室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	
		感染制御部	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	
		医療安全管理室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	
		医事課（患者相談窓口）	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
		医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
		医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	
		医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	集中治療室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	総務課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 今田 敏夫
閲覧担当者氏名	総務課長 堀川 尚実 医事課長 谷口 尚三
閲覧の求めに応じる場所	会議室 又は 閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	62. 8 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			11,299 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			6,715 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			518 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			22,812 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

### 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員：専任(3名) 兼任(2名)</li><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 事例対応 ② インシデント報告の把握</li><li>③ 協議：安全管理対策委員会の運営</li><li>④ 周知：リスクマネージャー会議の運営</li><li>⑤ 教育：医療安全管理講演会、研修会の企画運営</li></ul></li></ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 当院の医療安全の基本方針、体制と考え方</li><li>② 有害事象発生時の初期対応マニュアル</li><li>③ 患者確保の基本、緊急時の応援要請 ④ タイムアウト</li><li>⑤ 薬剤、輸血、ME機器に関する事項</li></ul></li></ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 25回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(内訳) 安全管理対策委員会 14回、リスクマネージャー会議 11回</li><li>(内容) 安全管理対策委員会：院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネージャー会議：安全管理対策委員会の方針周知 分科会での院内医療安全の課題検討</li></ul></li></ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 72回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療安全に関する講演会、・新採用職員向け当院医療安全の基礎研修、</li><li>・ 人工呼吸器研修、・心肺蘇生AED研修 他</li></ul></li></ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① インシデント報告のオンライン化による速やかな情報把握</li><li>② 手術室での執刀前のタイムアウト実施による実施手術の確認に充実</li><li>③ 処方オーダーリング時の3文字入力による誤処方防止</li><li>④ プロトコール登録レジメンシステム運用による、安全な化学療法の実施 など</li></ul></li></ul>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	( 個・無 )
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容 : ① 院内感染対策に関する基本的な考え方 ② 委員会等の組織に関する基本的事項 ③ 職員研修に関する基本方針 ④ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ⑤ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 病院感染対策マニュアルに関する基本方針 ⑦ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容 : ① 医療関連感染防止等についての検討 ② 感染症発生状況の把握 ③ 発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討 ④ 感染対策マニュアル等の検討</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容 : ① クロストリジウム・ディフィシル感染症及びインフルエンザの予防と対策講演会 ② 職業感染防止（安全機材の使用）実習 ③ 職業感染防止・公務労災も含めての講演会 等</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 個・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容 : 病棟別菌発生頻度、材料別発生頻度、主要分離菌の検出と推移など臨床検査部から感染症レポートを報告している。院内で感染症が発生した場合、感染制御部に一報を入れ発生届を提出する。感染制御部・I C Tは、状況把握に努め、助言・指導し、必要に応じて I C T会議や臨時感染対策委員会を開催し対応を検討する。</li> </ul>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研修の主な内容 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>(新採用・転入者医療安全研修) 薬剤に関する安全管理</li> <li>(医薬品安全管理推進研修) 抗がん剤の使用にあたって (プロトコル登録から調剤まで) 注射薬・輸液の基礎研修 麻薬管理について 他</li> <li>(医薬品安全管理推進基礎研修) 処方せん・指示票の読み方、ミキシング時のポイント、 休薬期間 ほか</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手順書の作成 ( 有・無 )</li> <li>• 業務の主な内容 : ① 昨年度手順書の大幅な見直しを行った。 ② 手順書に基づく、業務チェックリスト作成の準備</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医薬品に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>• その他の改善のための方策の主な内容 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>① プラスチック製注射容器の調整時の注意喚起</li> <li>② PCAポンプに使用する薬剤の注意喚起</li> <li>③ インスリン単位の誤解に起因する医療事故防止についての注意喚起</li> </ul> </li> </ul>	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>① 医療機器の有効性・安全性に関する事項</li><li>② 医療機器の使用方法に関する事項</li><li>③ 医療機器の保守点検に関する事項</li><li>④ 医療機器の不具合等が発生した場合の対応</li><li>⑤ 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項 その他</li></ul></li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 ( 有・無 )</li><li>保守点検の主な内容： 機器により異なるが、保守点検を業者に委託しているものについては、物品管理担当で調整し、中央管理機器については、MEセンターで調整している。</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li><li>その他の改善の方策の主な内容：特になし</li></ul>	